樹の木Ⅱ

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

注意

- 正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
  - ・当製品は、木粉入りポリエチレン樹脂製のため、熱変形することがあります。
    取扱いには十分注意してください。
  - ・平らな場所に立てかけないように保管してください。
  - ・暖房機や焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
  - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 設置場所を確認してください。
  - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
  - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
  - ・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはしないでください。
- デッキ上にフェンス等の上物を設置する場合は、あらかじめ指定のEX補助根太を組込み施工してください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- 市販の研磨紙を利用する際は、80番の研磨紙を用いてください。
- 施工手順は、「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

取付説明書区分表

施工手順	使用する取付説明書	取説コード
デッキの施工　束柱施工位置決め	・自然浴家族ーデッキ編（樹の木Ⅱ）ー ・自然浴家族ウッディタイプーデッキ編（樹の木Ⅱ）ー ・暖蘭物語ーデッキ編（樹の木Ⅱ）ー	E120 E121 E122
デッキの施工　基礎石の配置～束柱化粧材の取付け	・樹の木Ⅱ	E146
デッキの施工　EX補助根太の位置出し	・自然浴家族ーデッキ編（樹の木Ⅱ）ー ・自然浴家族ウッディタイプーデッキ編（樹の木Ⅱ）ー ・暖蘭物語ーデッキ編（樹の木Ⅱ）ー	E120 E121 E122
デッキの施工　EX補助根太の取付け～幕板の取付け	・樹の木Ⅱ	E146
内面デッキの施工　柱の建て込み～内面デッキの取付け	・自然浴家族ーデッキ編（樹の木Ⅱ）ー ・自然浴家族ウッディタイプーデッキ編（樹の木Ⅱ）ー ・暖蘭物語ーデッキ編（樹の木Ⅱ）ー	E120 E121 E122

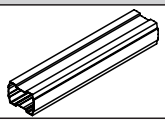
＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

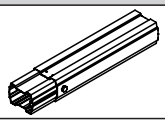
- 束柱の移動範囲は弊社指定範囲にしてください。
- ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。
- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って行なってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

■梱包明細表

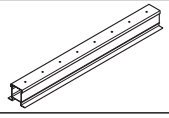
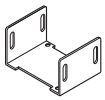
1 束柱Aセット

名　称	略　図	員　数		
		1本入	3本入	4本入
束柱A		1	3	4
束柱固定金具		2	6	8
フィッシャープラグS6		2	6	8
1-① φ4×13ナベピアスネジ		8	24	32
1-② φ4.5×32丸木ネジ		2	6	8

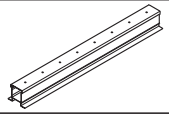
2 束柱Bセット

名　称	略　図	員　数		
		1本入	3本入	4本入
束柱B		1	3	4
束柱固定金具		2	6	8
フィッシャープラグS6		2	6	8
2-① φ4×13ナベピアスネジ		12	36	48
2-② φ4.5×32丸木ネジ		2	6	8

3 大引きセット

名　称	略　図	員　数		
		1.5間	2.0間	2.5間
大引き		1	1	1
側面幕板取付材A		2	2	2
側面幕板取付材B		2	2	2
3-① φ4×13ナベピアスネジ		8	8	8
3-② φ4×12ナベネジ		4	4	4

4 大引きセット 連棟

名　称	略　図	員　数		
		1.5間	2.0間	2.5間
大引き		1	1	1

■梱包明細表つづき

4 つづき

名　称	略　図	員　数		
		1.5間	2.0間	2.5間
大引きスリーブ		1	1	1
4-① φ4×19ナベピアスネジ		9	9	9

5 根がらみセット 6尺、7尺

名　称	略　図	員　数	
		2本入	3本入
根がらみ		2	3
5-① φ4×19ナベピアスネジ		6	9

6 根がらみセット 8尺、9尺、10尺

名　称	略　図	員　数	
		2本入	3本入
根がらみ		2	3
6-① φ4×19ナベピアスネジ		9	12

7 床板セット

名　称	略　図	員　数
床板		2

8 幕板Aセット

名　称	略　図	員　数
幕板A		2

9 幕板Bセット

名　称	略　図	員　数
幕板B		2

10 幕板コーナーキャップセット

名　称	略　図	員　数	
		90°	フリー
幕板90°コーナーキャップ		1	―
幕板フリーコーナーキャップA		―	1
幕板フリーコーナーキャップB		―	1
10-① φ4×14サラタッピンネジ1種		4	4

11 コーナー幕板取付材セット

名　称	略　図	員　数
幕板取付材A		4
幕板取付材B		8
幕板取付裏板		8
幕板孔開け治具		1
11-① φ4×25トラスタッピンネジ3種		8
11-② φ4×50サラピアスネジ		5
11-③ φ4×25サラピアスネジ		5

12 補助根太セット

名　称	略　図	員　数
補助根太		1
12-① φ4×19ナベピアスネジ		6

13 EX柱取付材セット

名　称	略　図	員　数
EX補助根太		2
EX柱取付材		1
13-① φ4×70トラスタッピンネジ1種		8
13-② φ3.8×20ナベALC特殊ネジ		40
13-③ φ4×13ナベピアスネジ		17

14 束柱化粧材セット

名　称	略　図	員　数
束柱化粧材		2
14-① φ4×35サラピアスネジ		4

15 躯体付けアングルセット

名　称	略　図	員　数
躯体付けアングル		1
15-① φ6×70六角タッピンネジ1種		6

E146_200501C

⑯正面幕板取付材セット

名　称	略　図	員　数		
		1.5間	2.0間	2.5間
幕板取付材A		5	7	8
幕板取付材B		10	14	16
幕板取付裏板		10	14	16
幕板孔開け治具		1	1	1
⑯-① φ4×25トラスタッピンネジ3種		10	14	16
⑯-② φ4×50サラピアスネジ		7	9	10
⑯-③ φ4×25サラピアスネジ		7	9	10

⑰床板取付部品セット上止め

名　称	略　図	員　数	
		基本	追加
孔開け治具		2	―
補修用研磨紙		3	―
⑰-① φ4×65サラピアスネジ		175	50
取扱説明書	―	1	―
取付説明書	―	1	―

⑱床板取付部品セット（横止め）

名　称	略　図	員　数		
		基本	追加60	追加20
横止め金具		80	60	20
孔開け治具		1	―	―
補修用研磨紙		3	―	―
⑱-① φ4×13ナベピアスネジ		85	62	21
⑱-② φ4×65サラピアスネジ		25	―	―
取扱説明書	―	1	―	―
取付説明書	―	1	―	―

⑲側面幕板取付部品セット

名　称	略　図	員　数
側面幕板取付材A		2
側面幕板取付材B		2

名　称	略　図	員　数
⑲-① φ4×13ナベピアスネジ		8
⑲-② φ4×12ナベネジ		4
⑲-③ φ4×50サラピアスネジ		2

INDEX

1　施工時の重要確認事項 …… 8

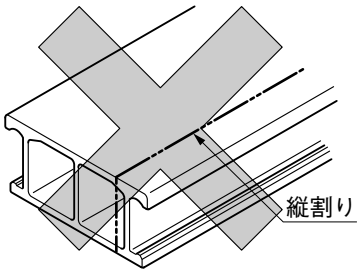
2　基本寸法と各部名称 …… 9
1. 各部名称 …… 9
2. 詳細納まり …… 10
2-1 間口断面納まり図 …… 10
2-2 出幅断面納まり図 …… 10
3. 基本寸法 …… 10
3-1 1.5間 …… 11
3-2 2.0間 …… 12
3-3 2.5間 …… 13
3-4 3.0間 …… 14
3-5 3.5間 …… 15
3-6 4.0間 …… 17
3-7 4.5間 …… 19
3-8 5.0間 …… 21

3　本体の施工方法 …… 23
1. 基礎石配置 …… 23
2. 基礎の施工 …… 23
2-1 基礎石の埋込み …… 23
（1）柱B仕様 …… 23
2-2 束柱の加工 …… 23
（1）柱A仕様 …… 23
3. 束柱・根がらみ・大引きの取付け …… 24
3-1 束柱の固定 …… 24
3-2 根がらみの取付け …… 24
3-3 大引きの取付け …… 25
3-4 側面幕板取付材の取付け …… 25
3-5 大引きの連結方法 …… 26
4. 束柱化粧材の取付け オプション …… 26

INDEX

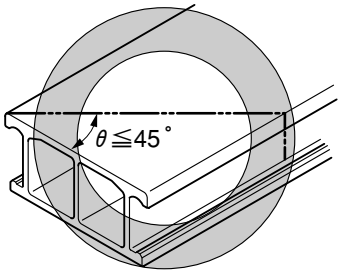
5. EX補助根太の取付け …… 27
5-1 EX補助根太の取付位置の確認 …… 27
（1）デッキ前面部にフェンス柱を取付ける場合 …… 27
（2）デッキ中間部にハイパーティション柱を取付ける場合 …… 27
（3）自然浴家族のエクシオール柱を取付ける場合 …… 28
（4）自然浴家族ウッディのエクシオール柱を取付ける場合 …… 28
（5）暖蘭物語のエクシオール柱を取付ける場合 …… 28
5-2 EX補助根太の取付け …… 29
6. 補助根太の取付け …… 31
6-1 角切り …… 31
6-2 R加工 …… 32
7. 躯体アングルの取付け オプション …… 33
7-1 躯体面大引きとの距離が200mmを超える場合 …… 33
8. 床板の取付け …… 33
8-1 Rコーナーでの床板取付上の注意 …… 33
8-2 上止め仕様の場合 …… 34
8-3 横止め仕様の場合 …… 35
（1）床板の取付け …… 35
（2）目地の調整 …… 36
9. 正面・コーナー幕板取付け材の取付け …… 37
9-1 幕板取付材の取付位置の確認 …… 37
9-2 正面幕板・コーナーの幕板取付材の取付け …… 38
10. 幕板の取付け …… 39
10-1 幕板Aの場合 …… 39
（1）直角・90°コーナー部の場合 …… 39
（2）フリーコーナー部の場合 …… 40
10-2 幕板Bの場合 …… 41
（1）直角・90°コーナー部の場合 …… 41
（2）フリーコーナー部の場合 …… 42
（3）R納まりの場合 …… 43
11. 施工後の仕上げ …… 44

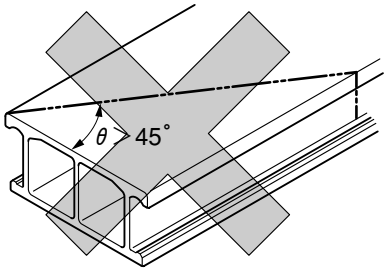
1　施工時の重要確認事項



ポイント

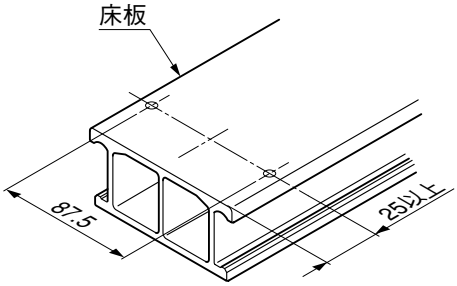
- 床板・幕板は縦割りはできません。材料の変形・破損の原因になります。
- 床板の間口調整は、床板枚数単位で行なってください。





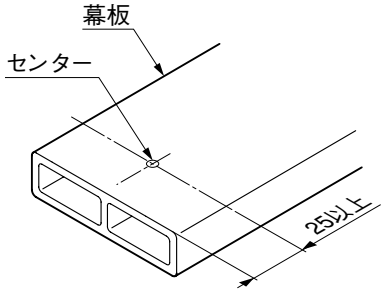
ポイント

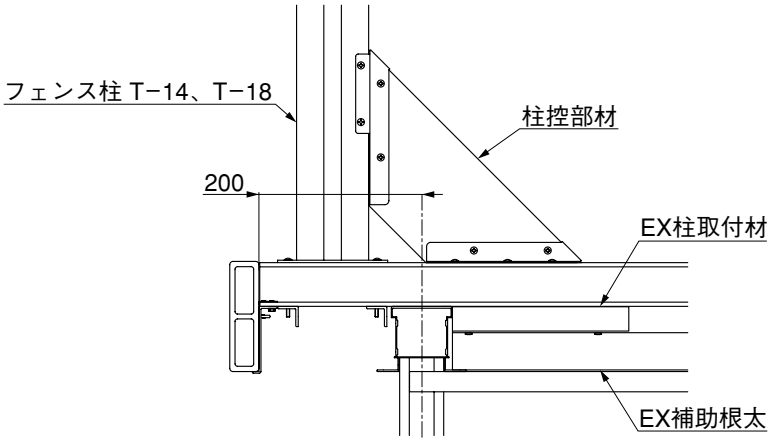
- 床板・幕板を斜め切りするときは、45°以内にしてください。
  切り込み過ぎは、材料の変形・破損の原因になります。



ポイント

- 床板・幕板を取付ける際は、専用の固定ネジ治具を使い固定してください。ネジの打込み位置がずれると、材の変形・破損の原因になります。



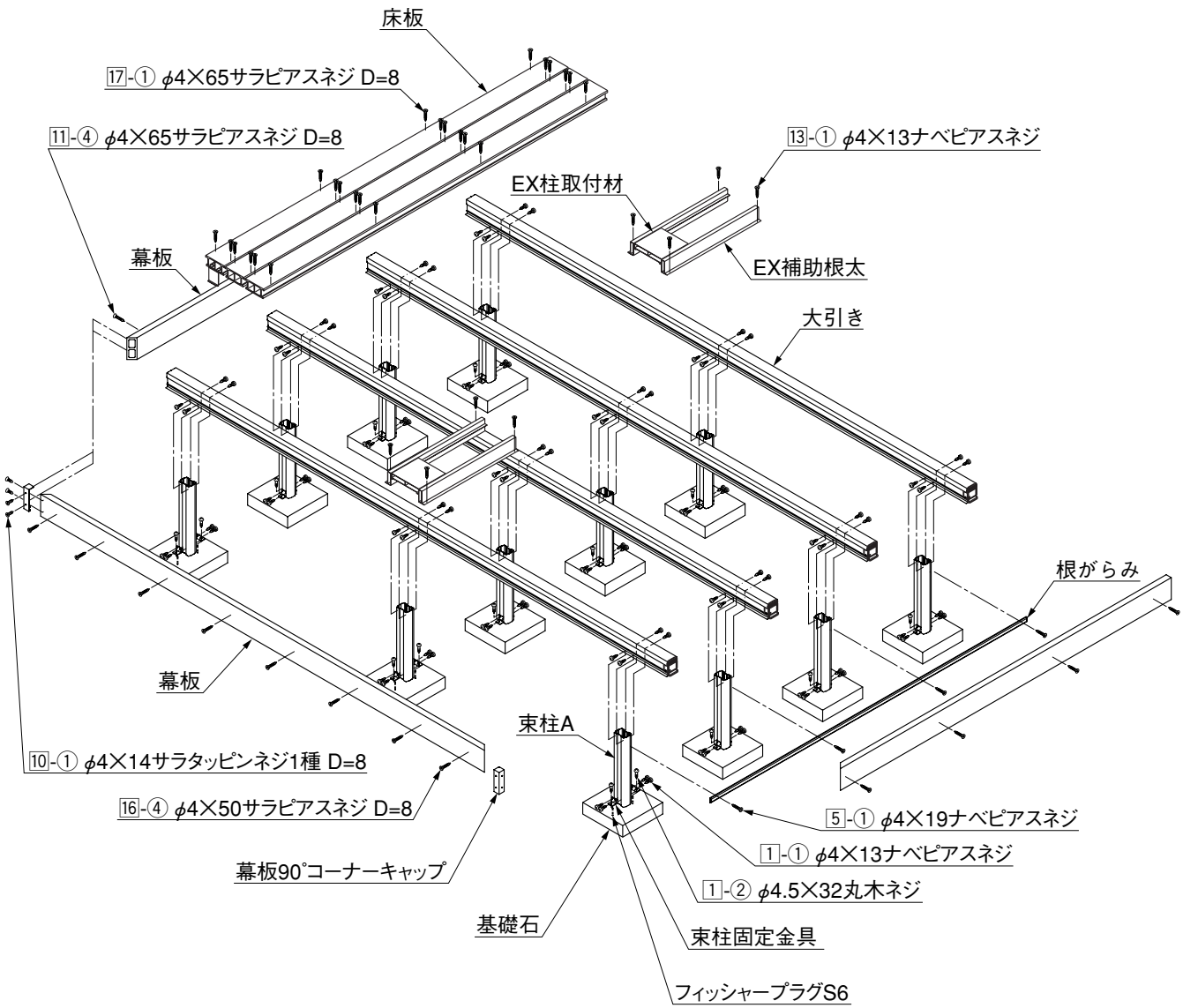


ポイント

- デッキ前面部にフェンス柱を取付ける場合は、床板の張出しを大引きの中心から必ず200にしてください。
  短くすると、柱が取付かなくなります。

2　基本寸法と各部名称

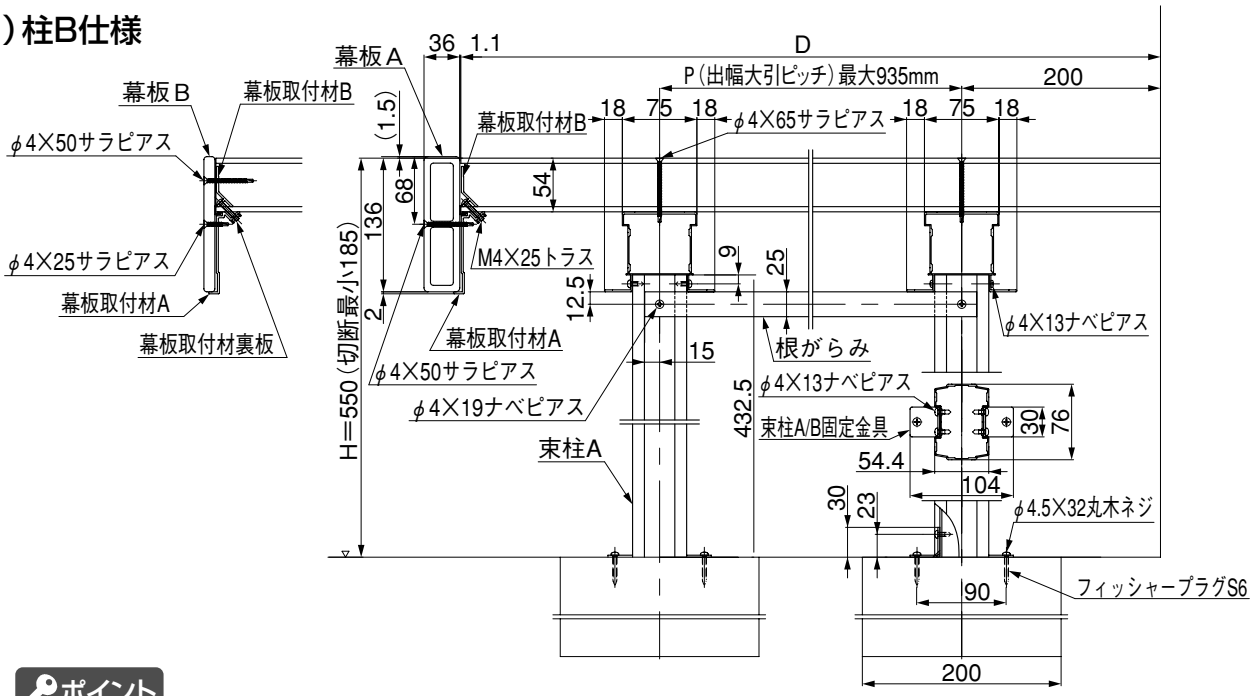
1. 各部名称



2. 詳細納まり

2-1 出幅断面納まり図

(1) 柱B仕様

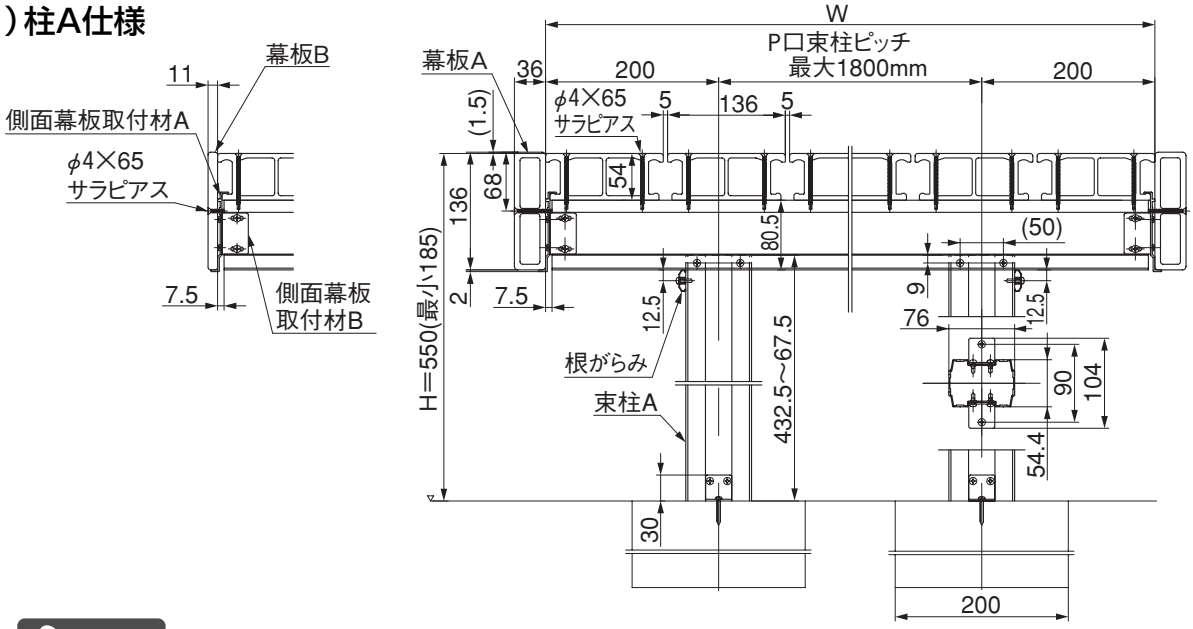


ポイント

- デッキの出幅最大寸法は、D＋1mm＋36mm(11mm)です。
- デッキの間口最大寸法は、W＋2mm×7.5mm＋2mm×36mm(11mm)です。(　)は、幕板B寸法です。
- デッキ最低H寸法は、束柱A：185mm、束柱B：287.5mmです。

2-2 間口断面納まり図

(1) 柱A仕様



ポイント

- デッキの出幅最大寸法は、D＋1mm＋36mm(11mm)です。
- デッキの間口最大寸法は、W＋2mm×7.5mm＋2mm×36mm(11mm)です。(　)は、幕板B寸法です。
- デッキ最低H寸法は、束柱A：185mm、束柱B：287.5mmです。

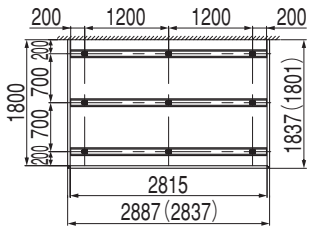
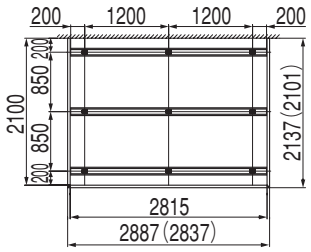
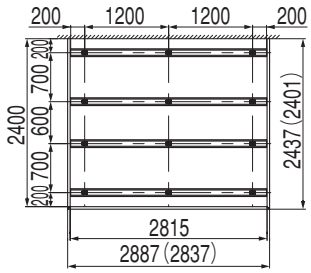
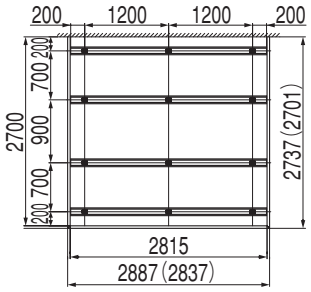
3. 基本寸法

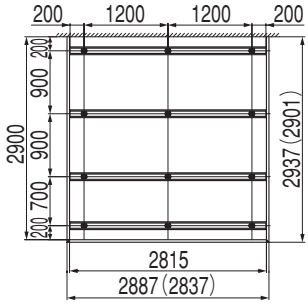
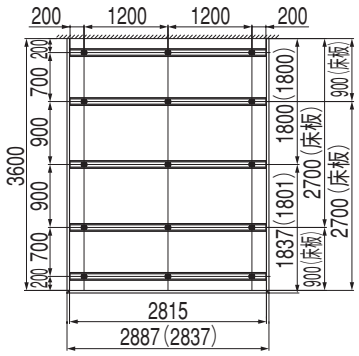
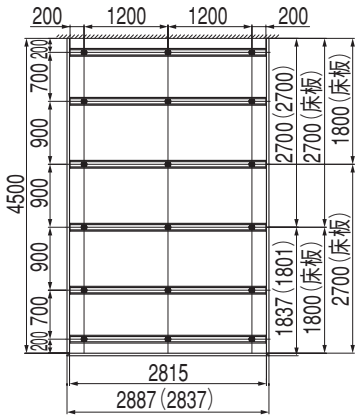
3-1 1.5間

※(　)は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。

ポイント

- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は、935mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。

仕様 / 屋根出幅	1.5間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

仕様 / 屋根出幅	1.5間
10尺	
12尺	
15尺	

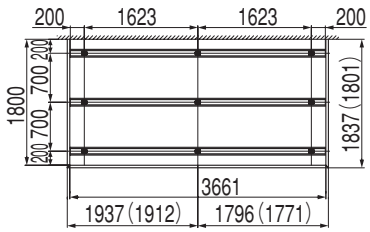
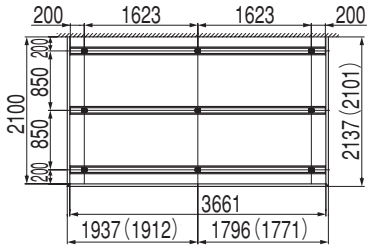
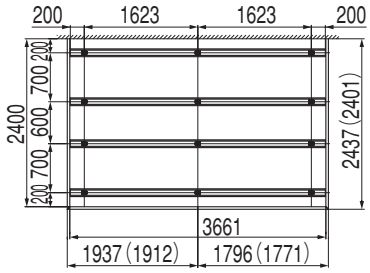
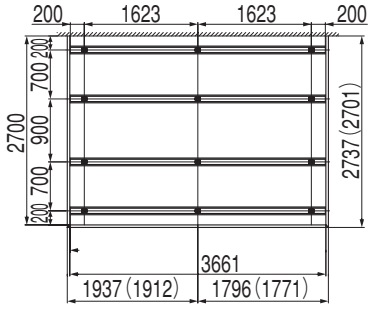
3. つづき

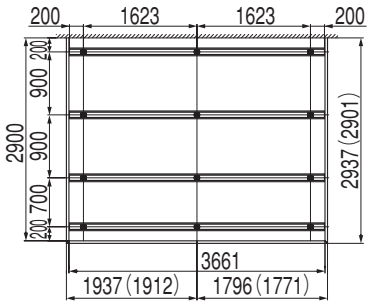
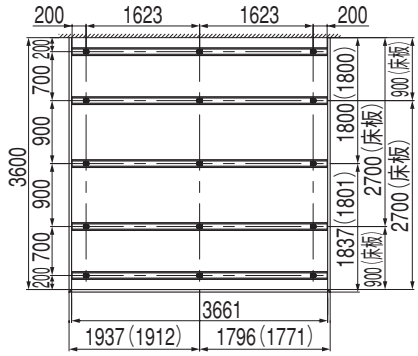
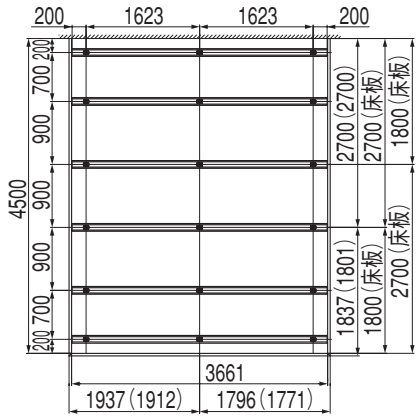
3-2 2.0間

※（　）は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。

ポイント

- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は、935mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。

仕様／屋根出幅	2.0間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

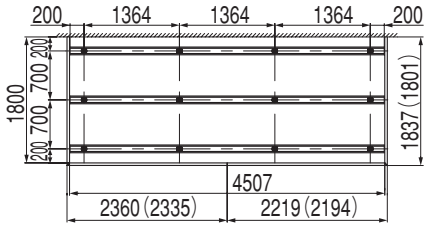
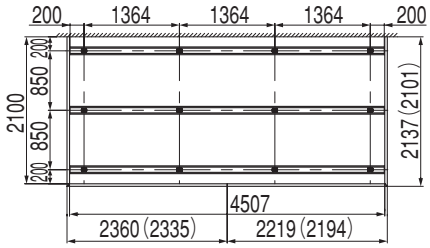
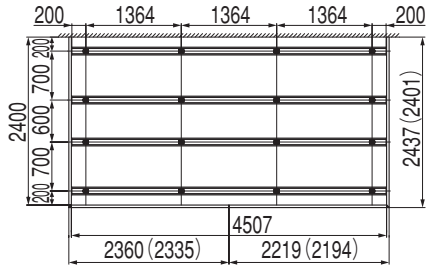
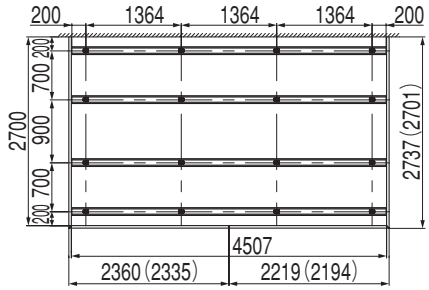
仕様／屋根出幅	2.0間
10尺	
12尺	
15尺	

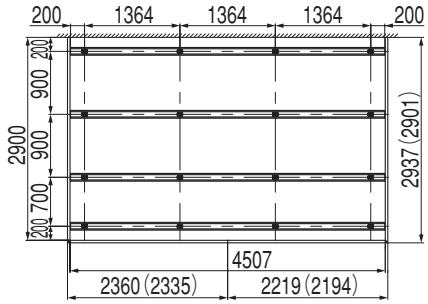
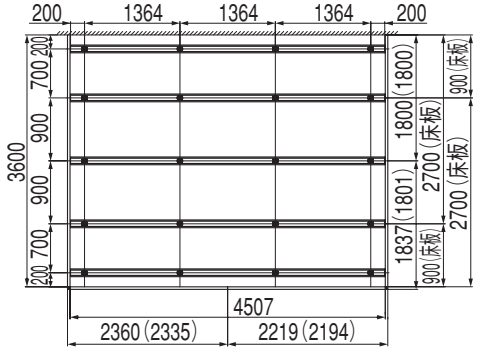
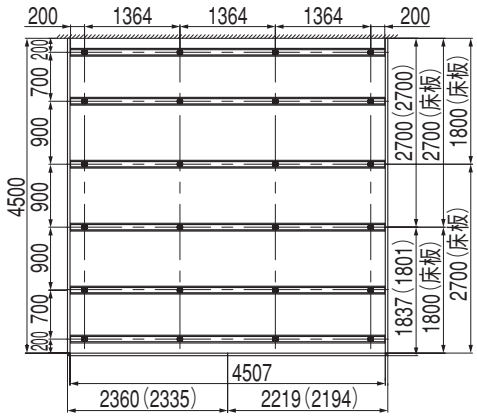
3-3 2.5間

※(　)は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。

ポイント

- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は、935mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。

仕様 / 屋根出幅	2.5間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

仕様 / 屋根出幅	2.5間
10尺	
12尺	
15尺	

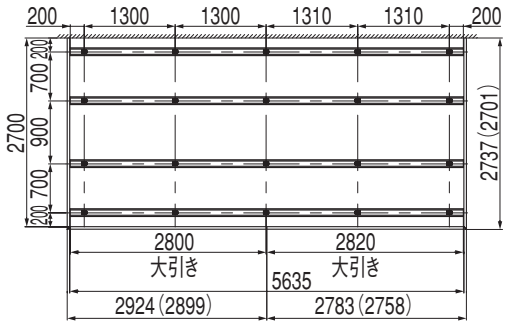
3. つづき

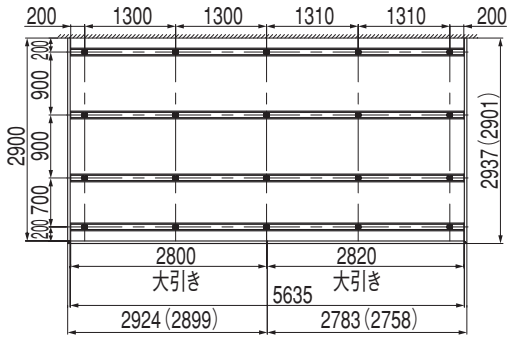
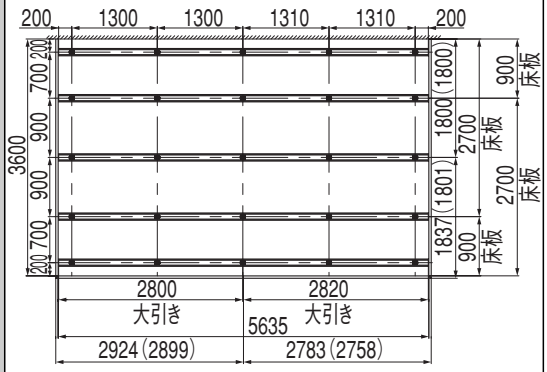
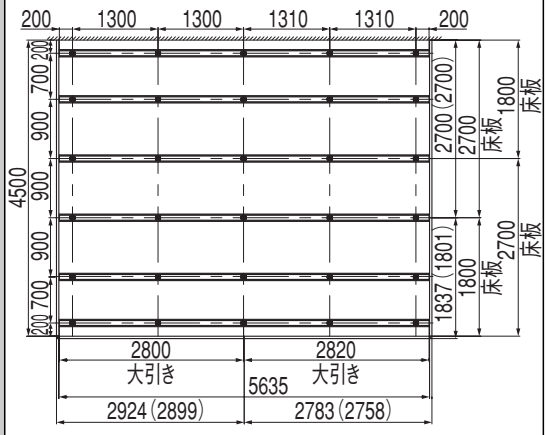
3-4 3.0間

※(　)は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。

ポイント

- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は、935mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。

仕様 / 屋根出幅	3.0間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

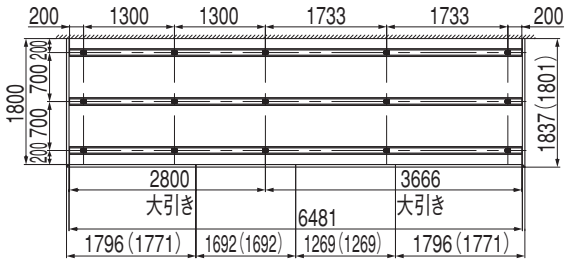
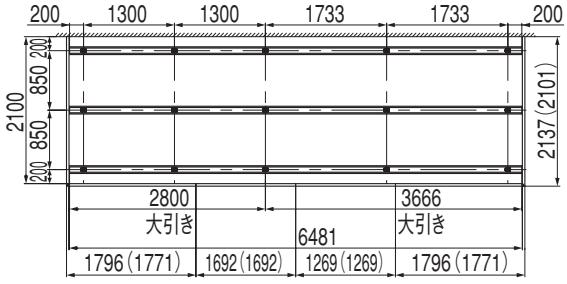
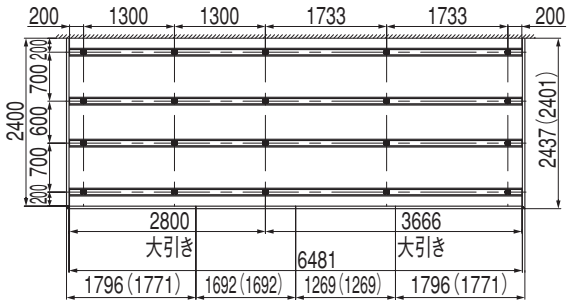
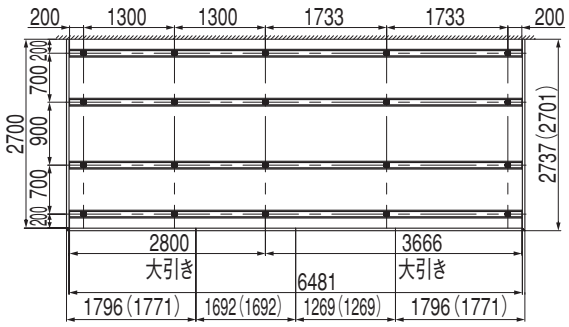
仕様 / 屋根出幅	3.0間
10尺	
12尺	
15尺	

3-5 3.5間

※(　)は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。

ポイント

- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は、935mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。

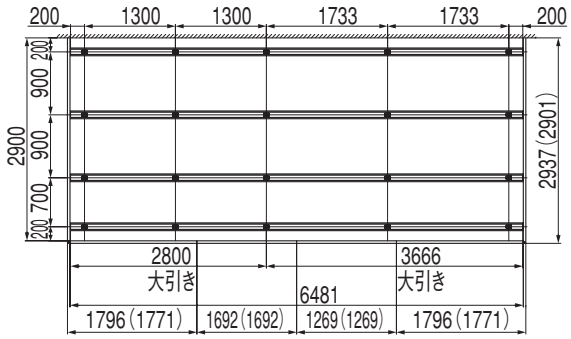
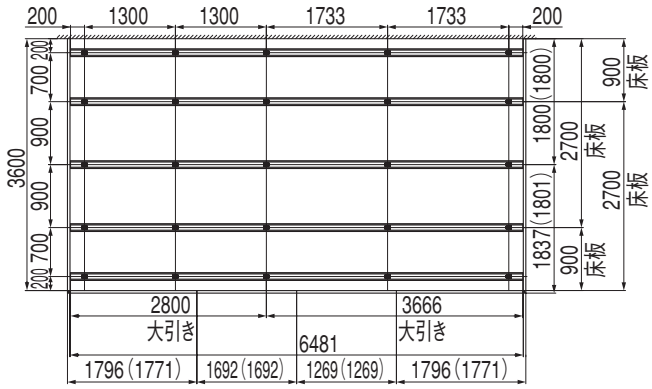
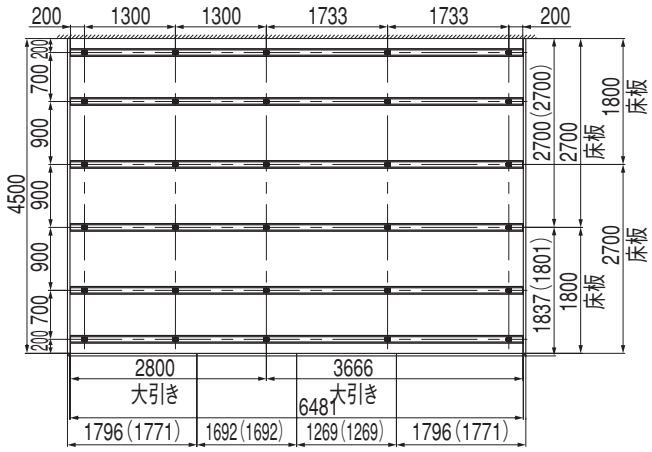
仕様 / 屋根出幅	3.5間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

3. つづき

3-5 つづき

ポイント

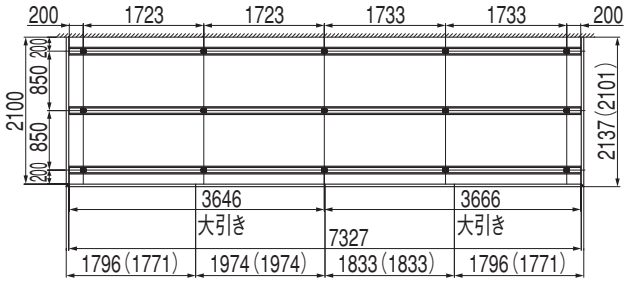
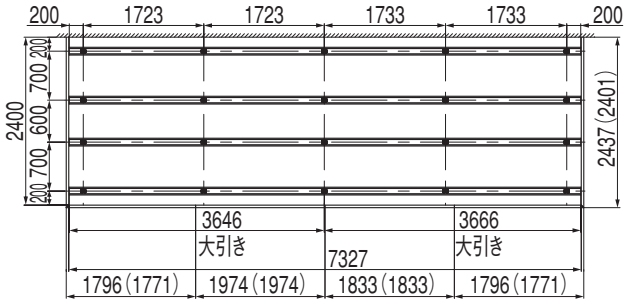
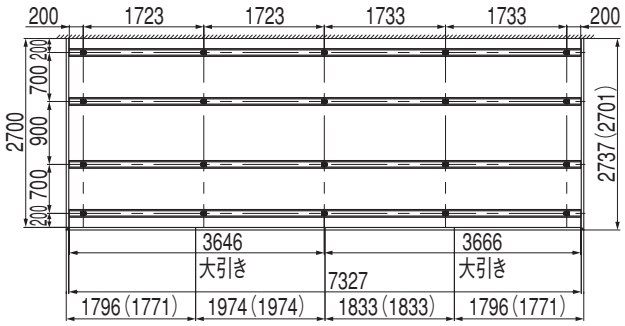
- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は、935mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。

仕様 / 屋根出幅	3.5間
10尺	
12尺	
15尺	

3-6 4.0間 ※(　)は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。

ポイント

- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は、935mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。

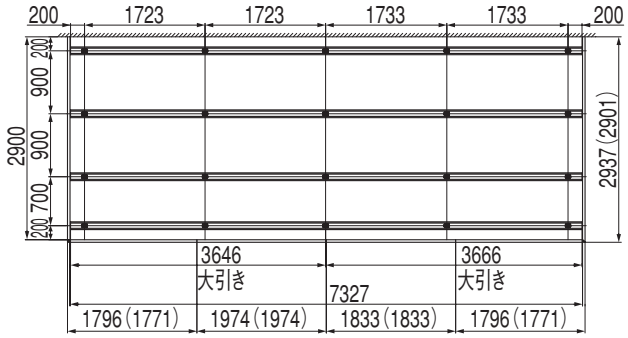
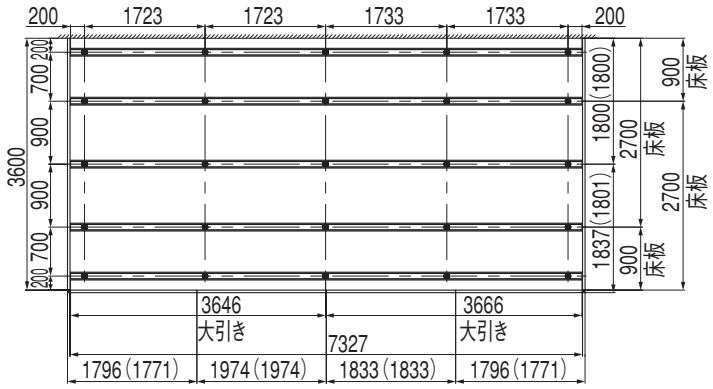
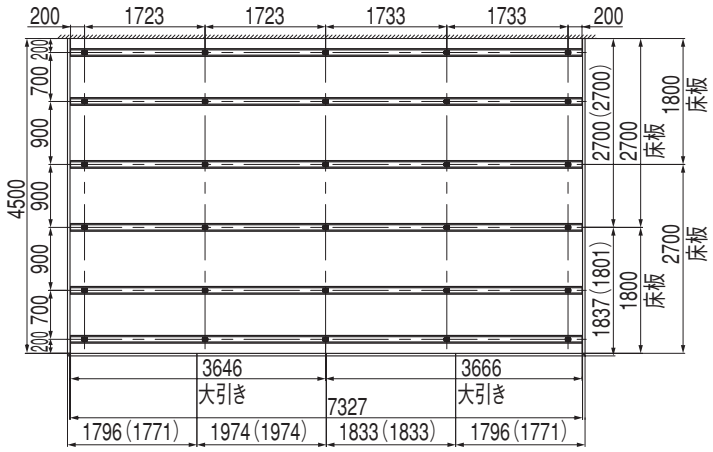
仕様 / 屋根出幅	4.0間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

3. つづき

3-6 つづき

ポイント

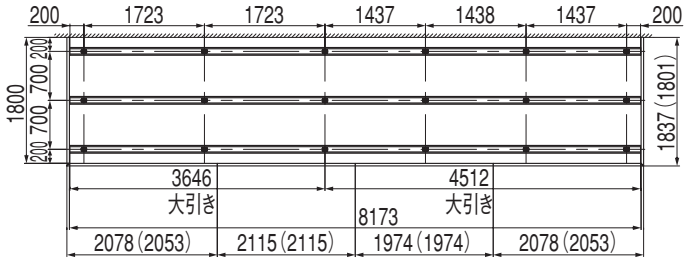
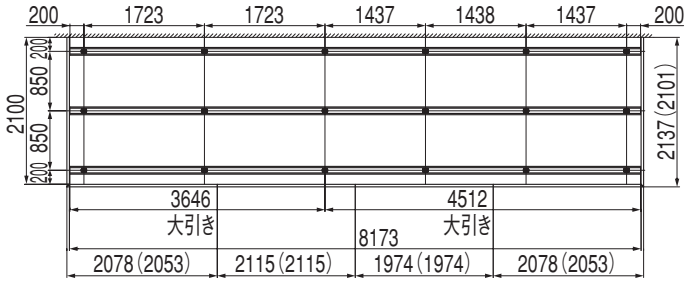
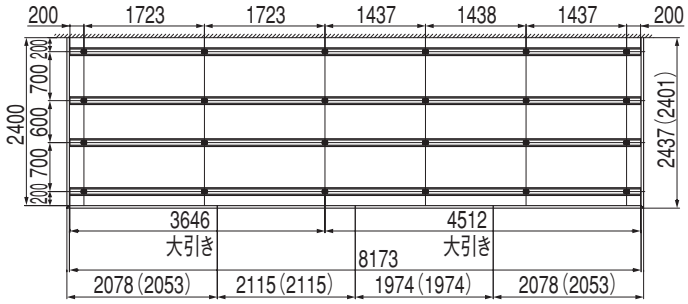
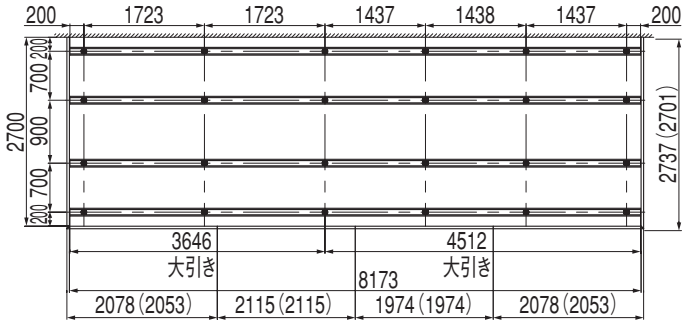
- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は、935mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。

仕様 / 屋根出幅	4.0間
10尺	
12尺	
15尺	

3-7 4.5間 ※(　)は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。

ポイント

- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は、935mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。

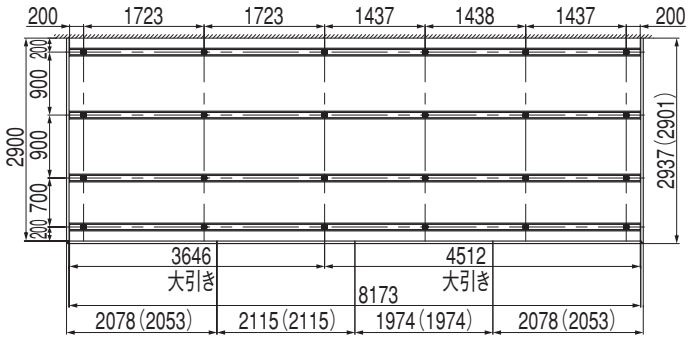
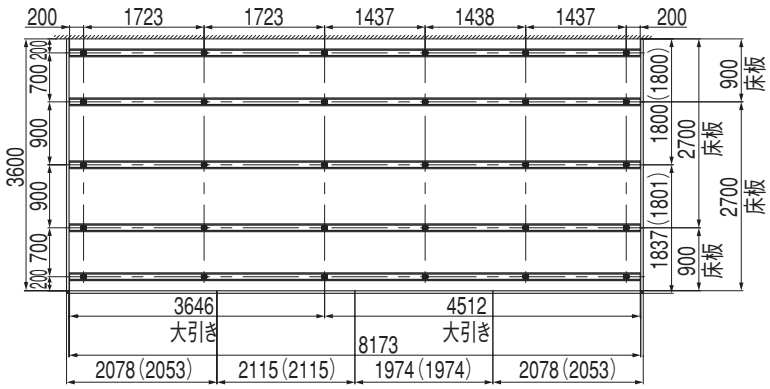
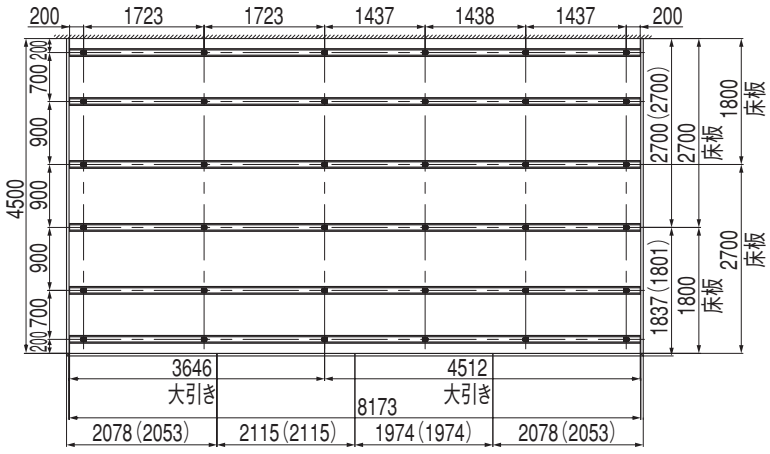
仕様 / 屋根出幅	4.5間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

3. つづき

3-7 つづき

ポイント

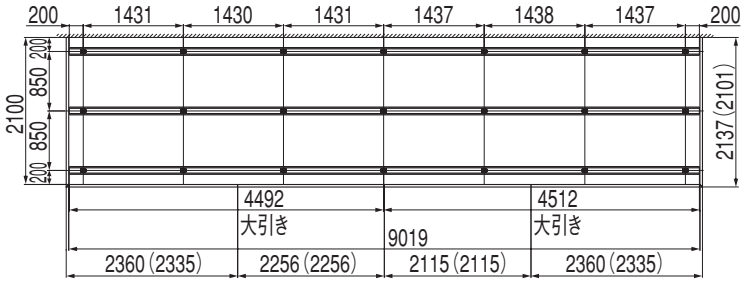
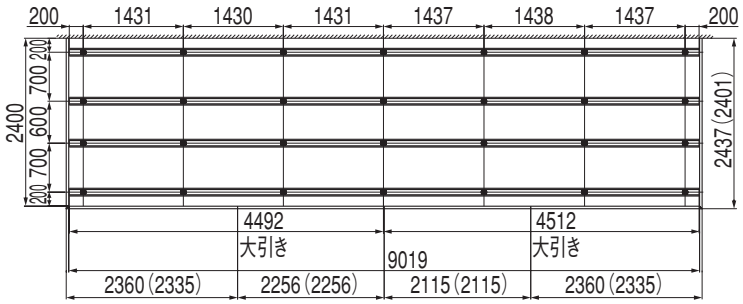
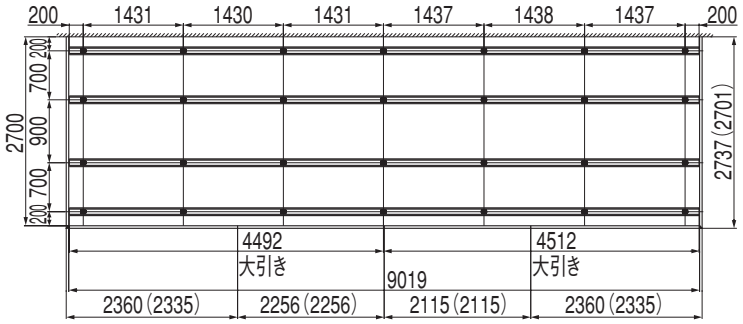
- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は、935mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。

仕様 / 屋根出幅	4.5間
10尺	
12尺	
15尺	

3-8 5.0間 ※(　)は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。

ポイント

- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は、935mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。

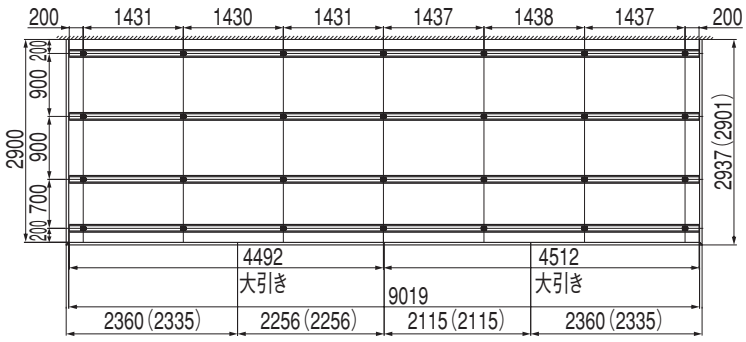
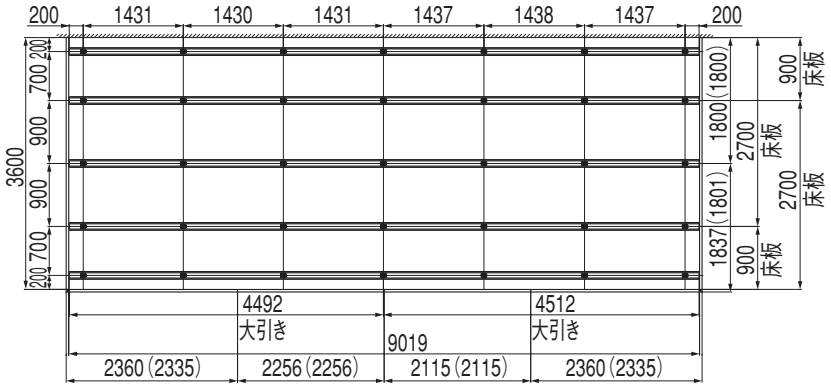
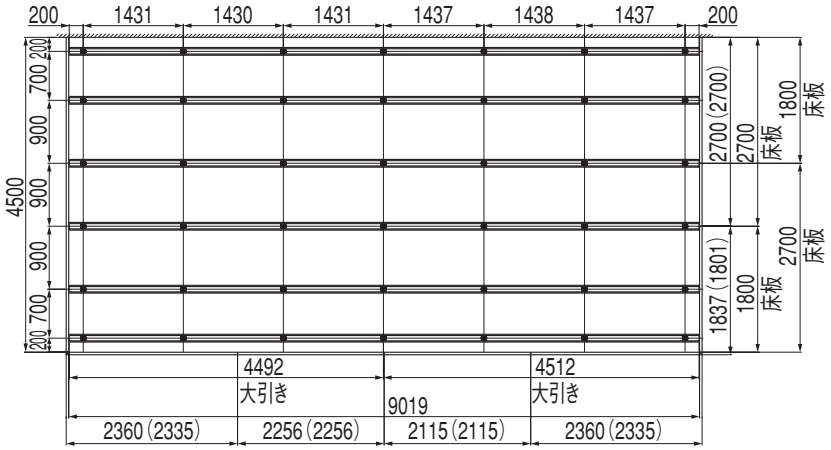
仕様 / 屋根出幅	5.0間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

3. つづき

3-8 つづき

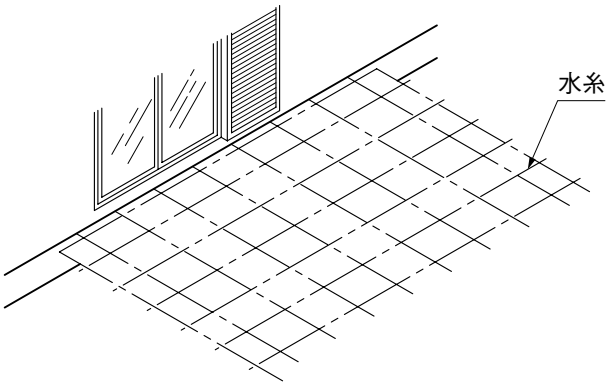
ポイント

- 大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 出幅方向の大引き最大芯々寸法は、935mm以内にしてください。
- 床板端部張出し最大寸法は、200mm以内にしてください。

仕様 / 屋根出幅	5.0間
10尺	
12尺	
15尺	

3　本体の施工方法

1. 基礎石配置



❶「2.基本寸法と各部名称 3.基本寸法」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、基礎石の位置を決定してください。

ポイント

- 本体の仕様位置によっては、柱と基礎石が干渉する場合があります。本体の施工前にその事を確認の上、必要に応じて基礎を移動してください。

2. 基礎の施工

2-1　基礎石の埋込み

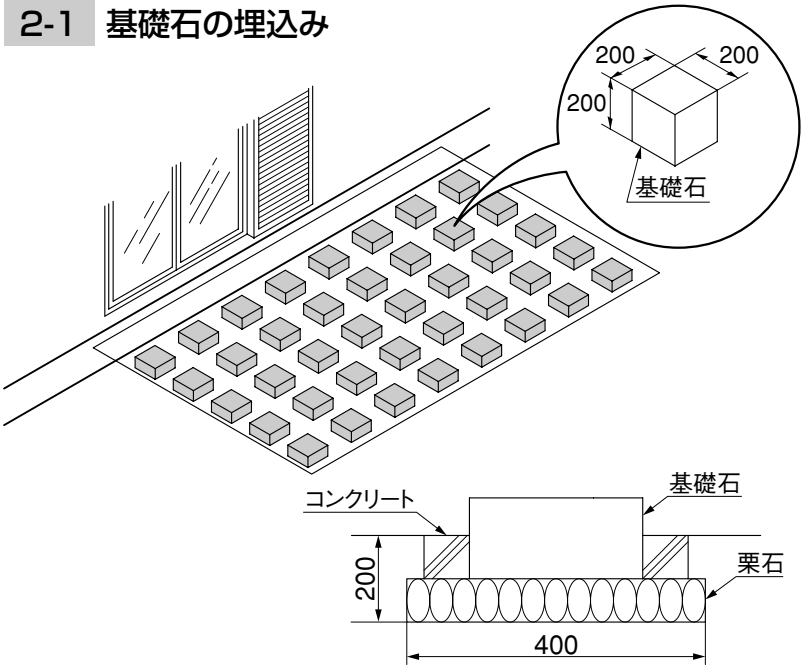


図2-1

❶各基礎石の位置を約400㎜角、深さ200㎜に掘り、栗石を敷いて、基礎石を据えてください。

ポイント

- この作業が十分でないと、基礎の沈みが発生する場合があります。

❷基礎石のレベルを出してください。

❸基礎石のまわりをコンクリートで固めてください。

ポイント

- コンクリートで基礎を固めないと、基礎の浮き沈みが発生する場合があります。

2-2　束柱の加工

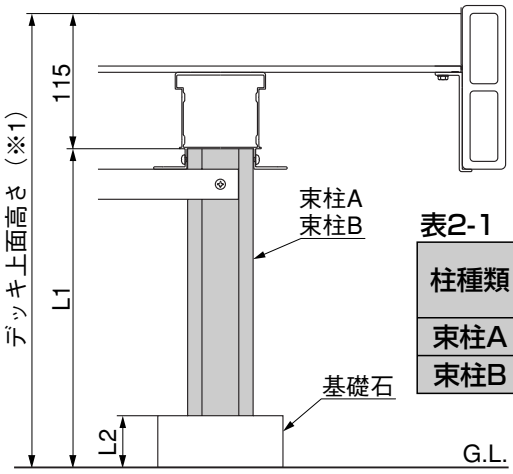


表2-1

柱種類	束柱最大切詰寸法	デッキ最低寸法
束柱A	365	185
束柱B	220	285

❶デッキ上面高さ（※1）を決定してください。

補足

- デッキ上面高さを決めると、L1が決ります。

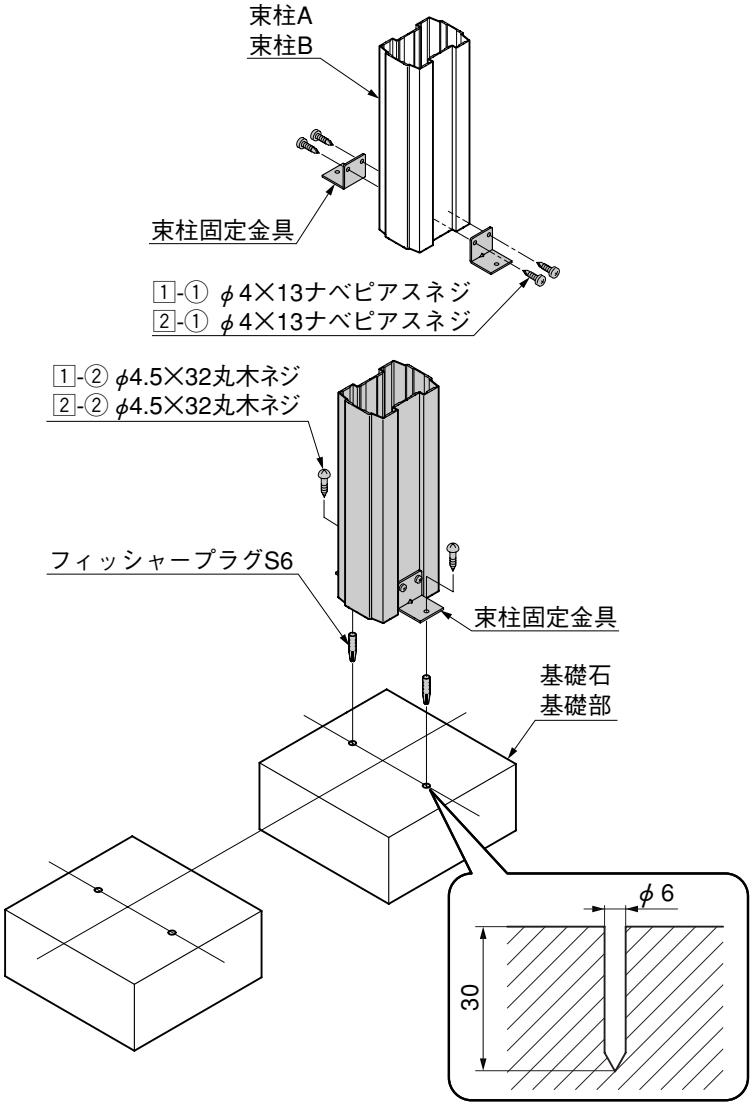
❷束柱Aまたは束柱Bを、L1からL2を引いた寸法で切断加工してください。

補足

- 束柱Aまたは束柱Bを切断する時には、基礎石の寸法を考えて切断加工してください。
- 束柱Bは高さ調整式で、調整寸法は45mmです。
- 束柱Bの切断は、柱下部側の下面方向より行なってください。

3. 束柱・根がらみ・大引きの取付け

3-1 束柱の固定



❶束柱Aまたは束柱Bに束柱固定金具を、1-①または2-①で固定してください。

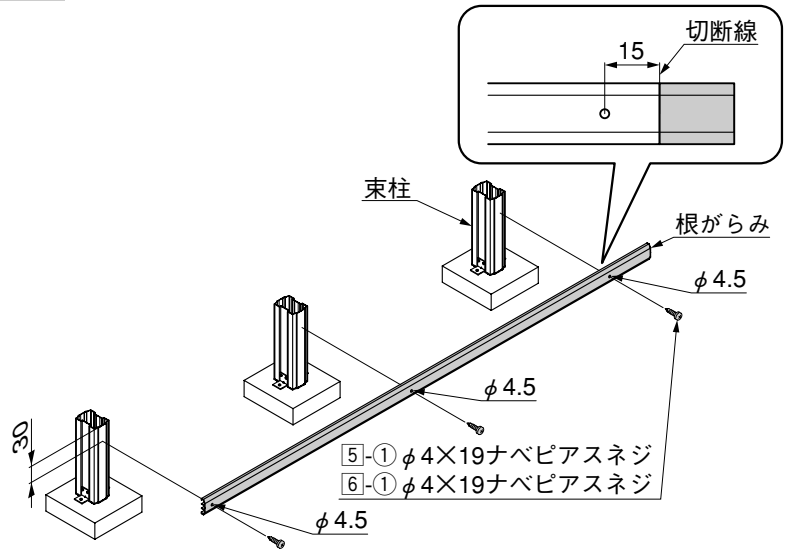
❷基礎石または基礎部に束柱Aまたは束柱Bをのせて、φ6で深さ30mmの孔をあけてください。

❸フィッシャープラグS6をたたきこみ、束柱固定金具を、1-①または2-①で固定してください。

ポイント

- 束柱と基礎石の固定は、基礎部材の水平・直角等を確認後に行ってください。

3-2 根がらみの取付け

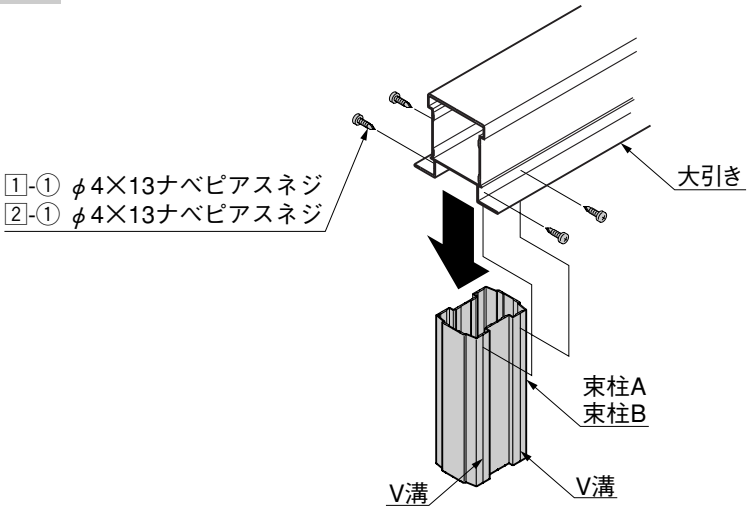


❶大引きのピッチにあわせて根がらみにφ4.5の孔をあけてください。

❷根がらみを端部の孔から15mmの位置で切断してください。

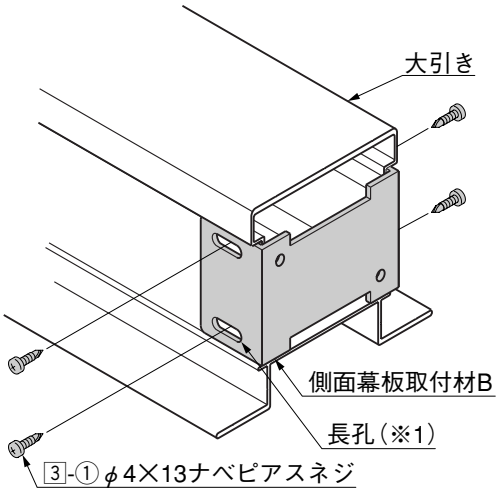
❸束柱のV溝にあわせて根がらみを束柱の上端から30mmの位置に5-①、6-①で取付けてください。

3-3 大引きの取付け



❶大引きと束柱Aまたは束柱Bを、V溝に合わせて1-①または2-①で固定してください。

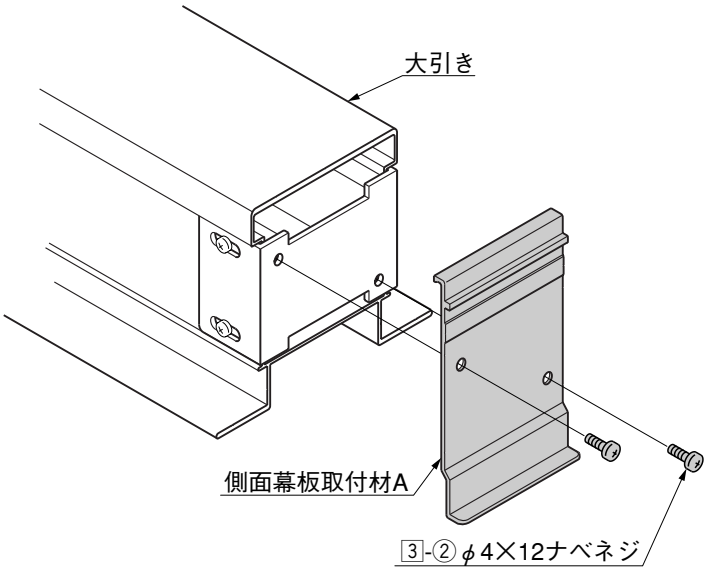
3-4 側面幕板取付材の取付け



❶大引きに側面幕板取付材Bを3-①で大引き側に押し込んで取付けてください。

ポイント

- 最後に床板を止める側は長孔（※1）の外側で仮固定してください。



❷床板を取付け始める側は、側面幕板取付材Bに側面幕板取付材Aを3-②で取付けてください。
反対側は床板を取付け終えてから側面幕板取付材Aを取付けてください。

ポイント

- 反対側は床板を取付け終えてから側面幕板取付材Aを取付けてください。

3. つづき

3-5 大引きの連結方法

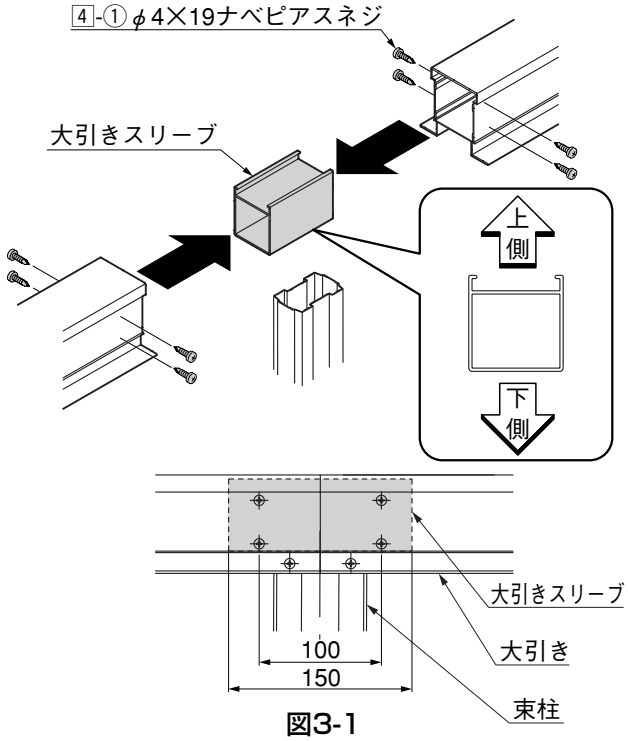


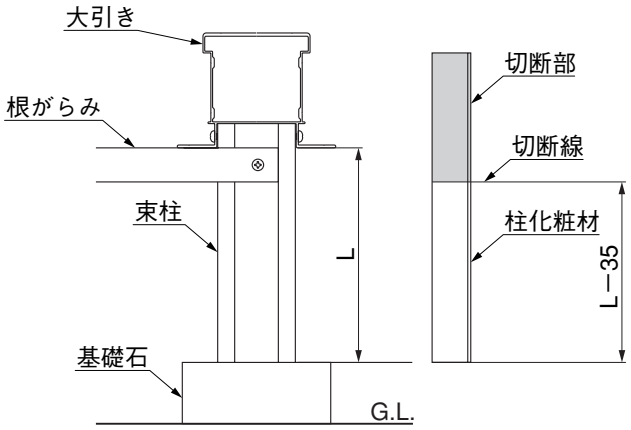
図3-1

❶大引きスリーブを大引きに挿入して、4-①で固定してください。

ポイント

- 大引きの連結部は、束柱の中央上部で突き合わせて固定してください。（図3-1参照）
- 大引きスリーブ材の上下を確認してから、組付けてください。

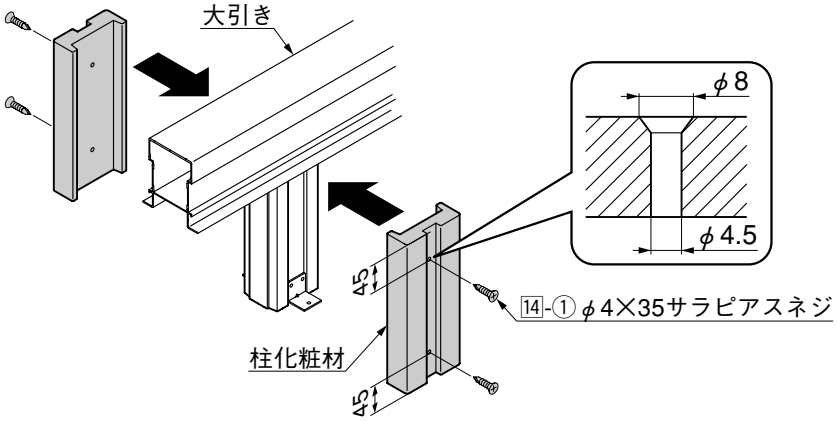
4. 束柱化粧材の取付け オプション



補 足

- 束柱Aと束柱Bとでは、束化粧材取付け後の外形寸法が異なります。

❶束柱のL寸法を実測して、柱化粧材をL寸法から−35mmの長さに切断してください。



❷柱化粧材の両端から45mmの位置にφ4.5下孔とφ8サラ取り加工をしてください。

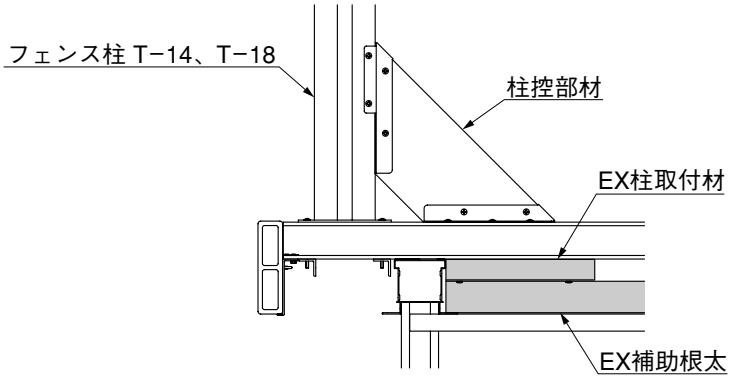
❸柱化粧材を束柱14-①で固定してください。

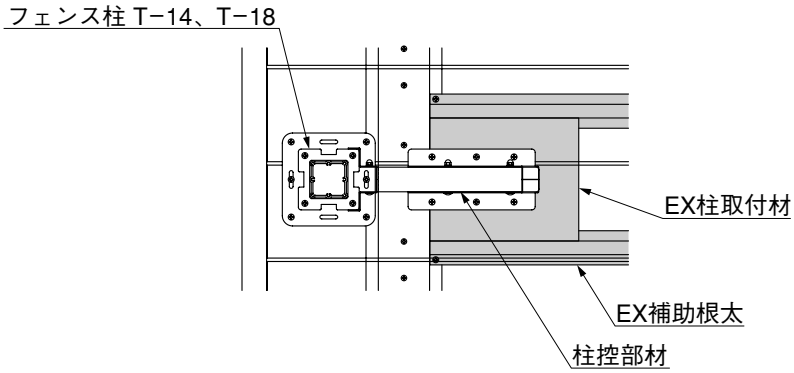
5. EX補助根太の取付け

5-1 EX補助根太の取付位置の確認

（1）デッキ前面部にフェンス柱を取付ける場合

※デッキ前面部に取付ける場合の作業です。
デッキ側面部には不要です。

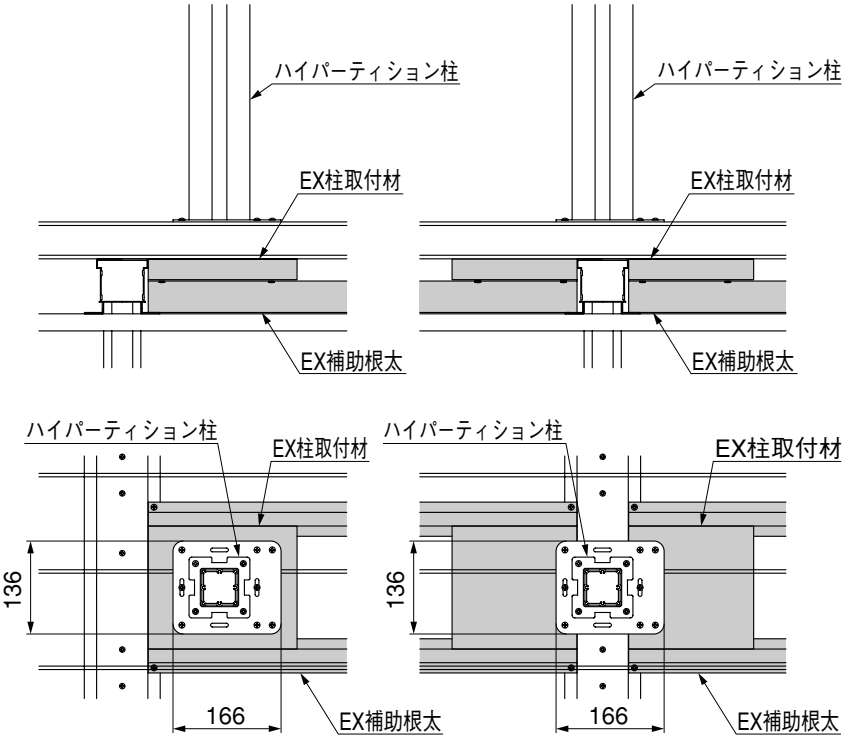




ポイント

- フェンス柱T−14、T−18をデッキ前面部に取付ける場合は、柱控部材を固定するために、EX補助根太・EX柱取付材を取付けてください。
- フェンス柱T−12以下の場合は不要です。

（2）デッキ中間部にハイパーティション柱を取付ける場合

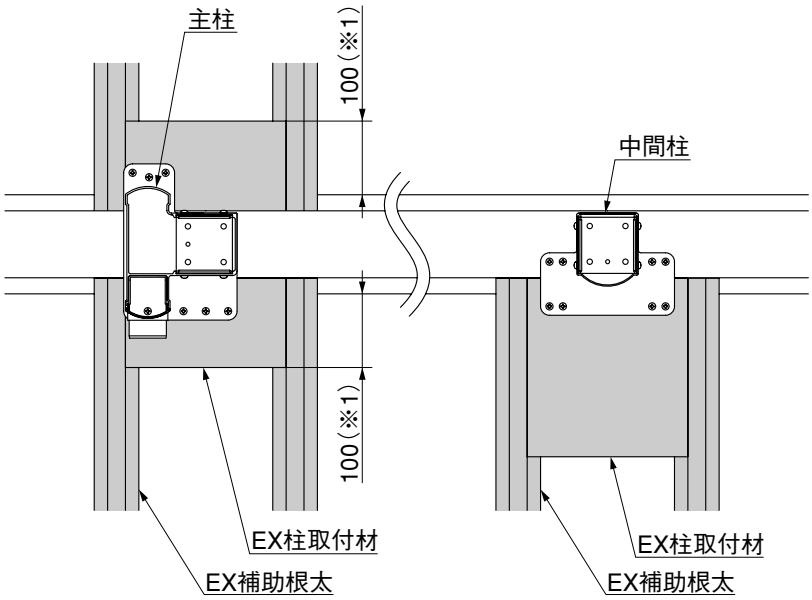


ポイント

- ハイパーティション柱をデッキ中間部に取付ける場合は、EX補助根太・EX柱取付材を取付けてください。

5. つづき

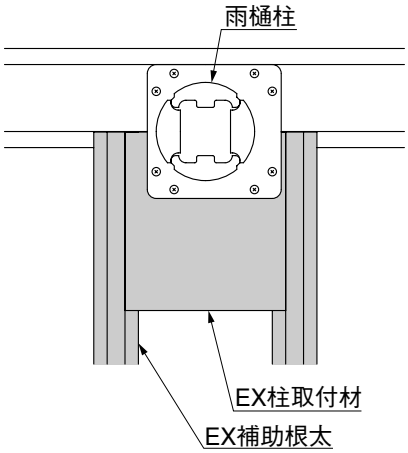
（3）自然浴家族のエクシオール柱を取付ける場合



ポイント

- エクシオール柱をデッキ面に取付ける場合は、EX補助根太・EX柱取付材を取付けてください。
- 自然浴家族の主柱を取付ける場合は、EX柱取付材を100mmずつ2つ（※1）に切断して取付けてください。

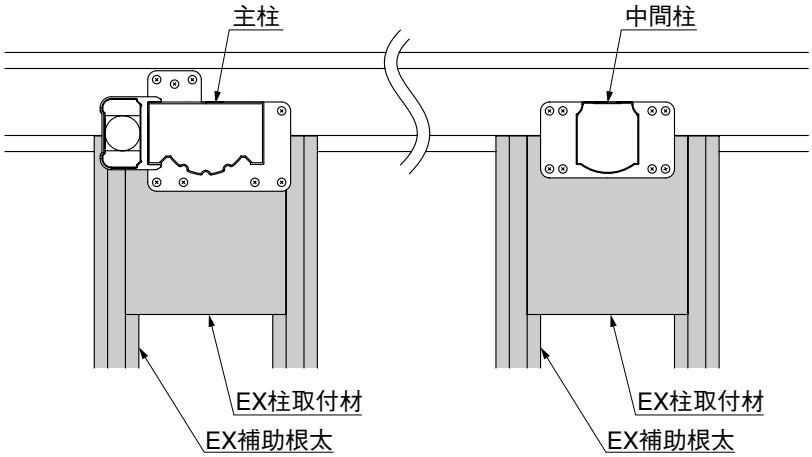
（4）自然浴家族ウッディのエクシオール柱を取付ける場合



ポイント

- エクシオール柱をデッキ面に取付ける場合は、EX補助根太・EX柱取付材を取付けてください。

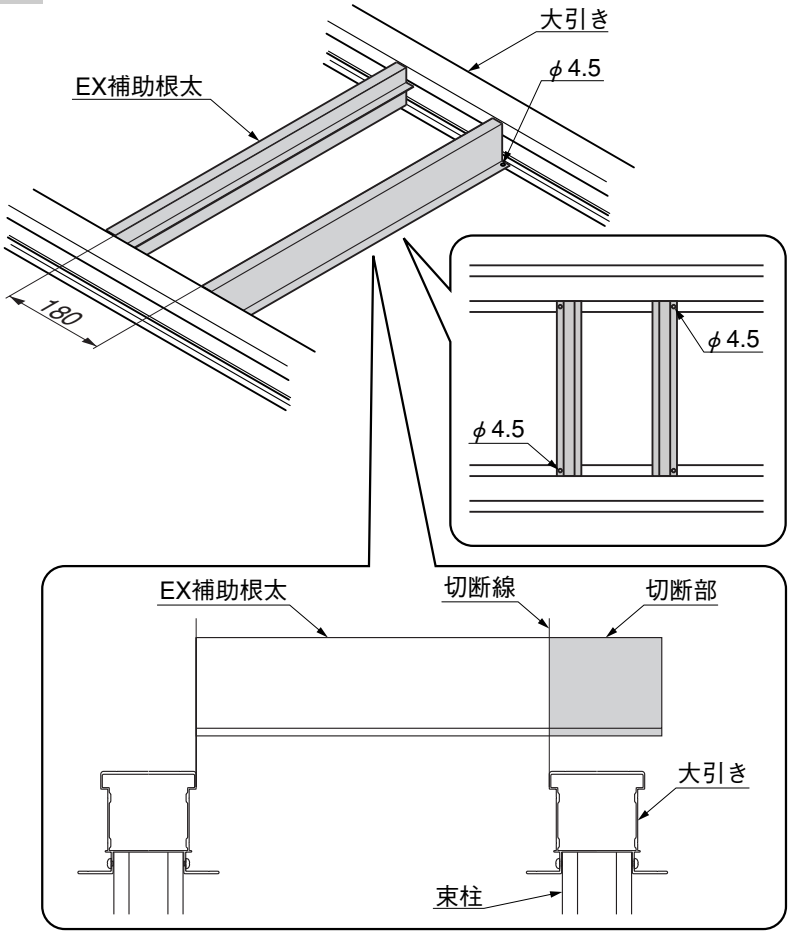
（5）暖蘭物語のエクシオール柱を取付ける場合



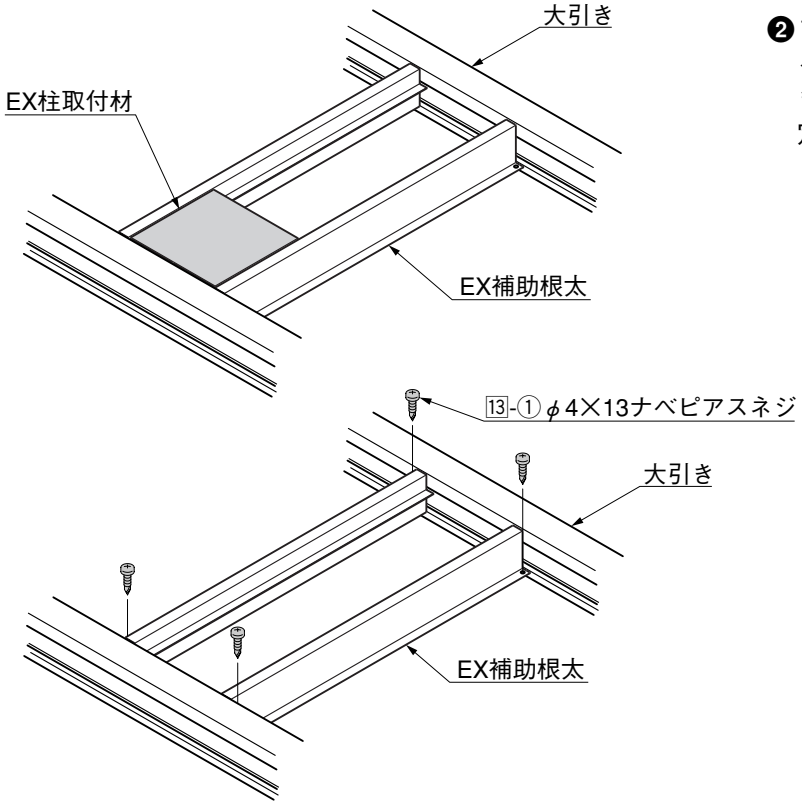
ポイント

- エクシオール柱をデッキ面に取付ける場合は、EX補助根太・EX柱取付材を取付けてください。

5-2 EX補助根太の取付け

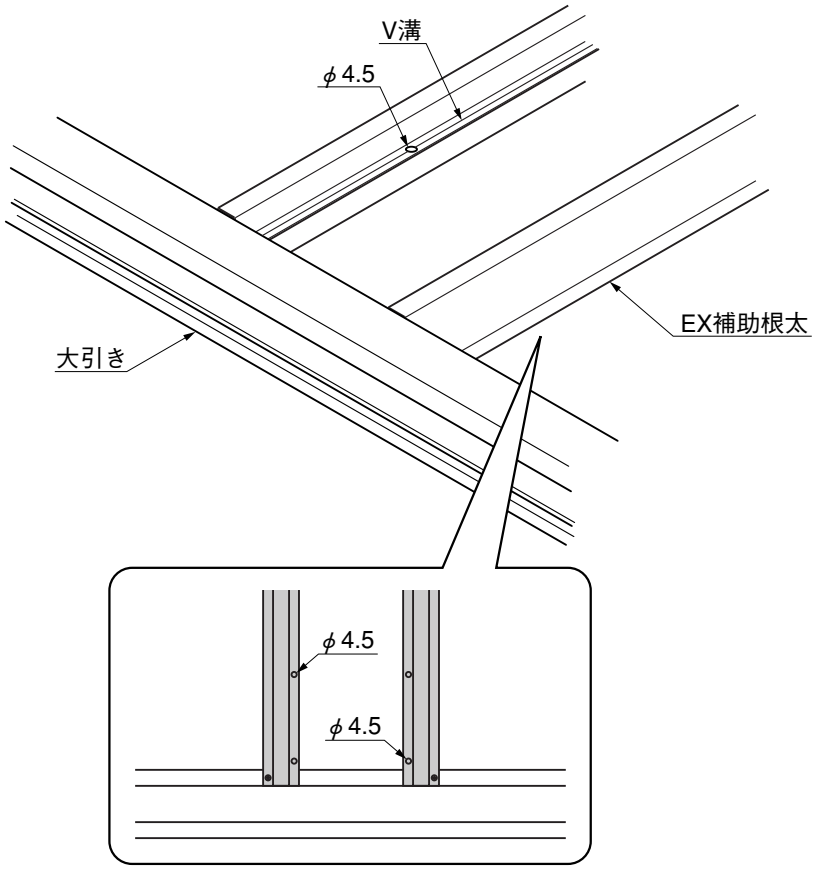


❶EX補助根太を大引きと大引きの間の寸法に切断して、EX補助根太1本当りに2ケ所φ4.5の下孔をあけてください。

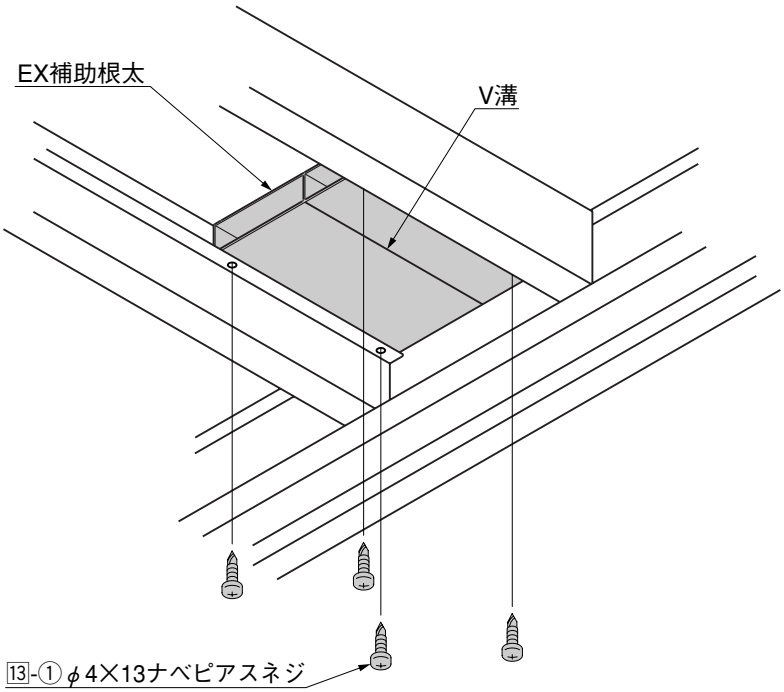


❷フェンス柱・エクシオール柱を取付ける位置にEX柱取付材が来るように仮置きして、EX補助根太を13-①で4ケ所固定してください。

5. つづき



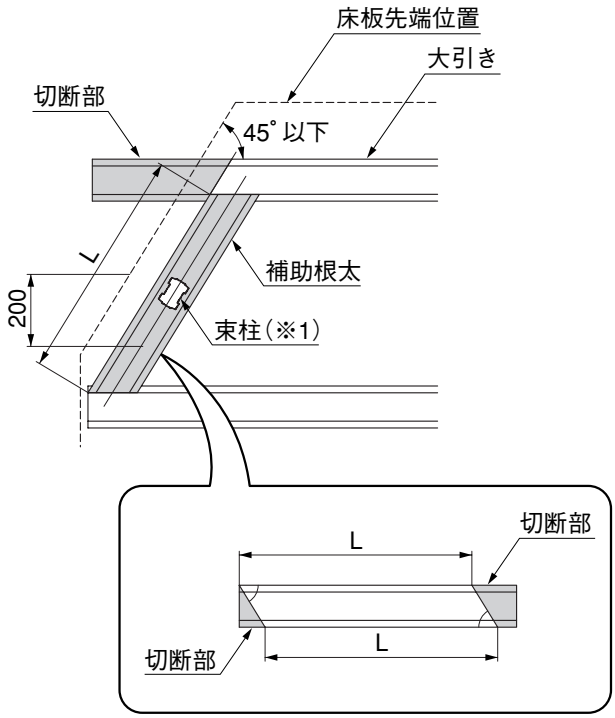
❸EX柱取付材を固定する位置に、V溝に沿ってφ4.5の下孔を4ケ所あけてください。



❹EX柱取付材のV溝がある面を下にして、13-①でEX補助根太の下側から固定してください。

6. 補助根太の取付け

6-1 角切り ※特殊納まりの加工です。



❶角切りする角度で大引きを切断してください。

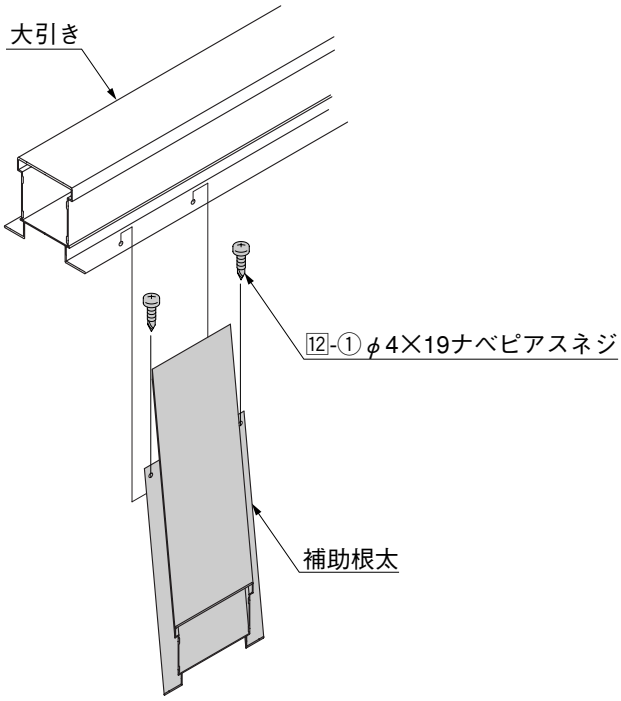
ポイント

- 床板の角切りは45°以下で切断してください。

❷L寸法を実測して、角切りする角度で、補助根太を切断してください。

ポイント

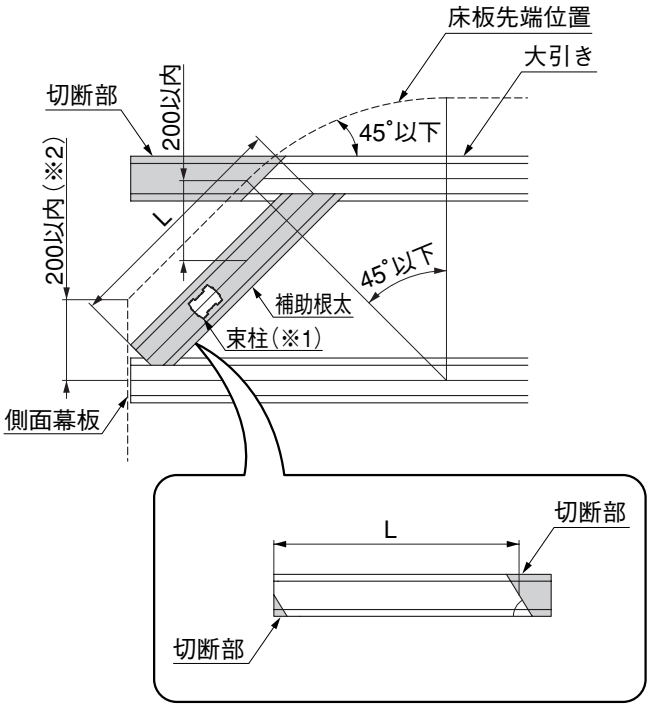
- L寸法が800mm以上の場合は、中間部に束柱（※1）を設置してください。
- 補助根太の中心から床板先端まで200mm以内にしてください。



❸補助根太を大引きに⑫-①で取付けてください。

6. つづき

6-2 R加工 ※特殊納まりの加工です。



❶床板の先端に合わせて大引きを切断してください。

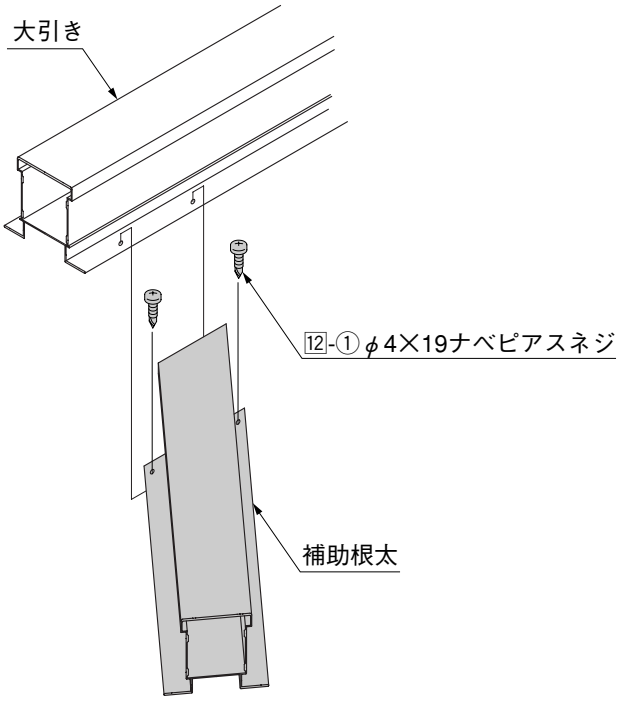
ポイント

- 床板の角切りは45°以下で切断してください。

❷L寸法を実測して、現物にあわせて補助根太を切断してください。

ポイント

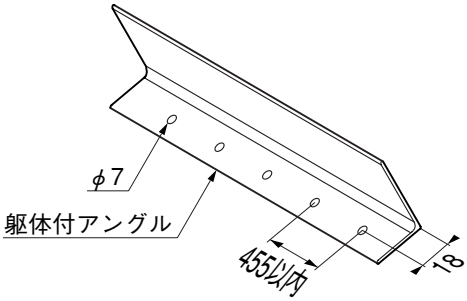
- L寸法が800mm以上の場合は、中間部に束柱（※1）を設置してください。
- 補助根太の中心から床板先端まで200mm以内にしてください。
- 側面幕板のとび出し（※2）は200mm以内にしてください。

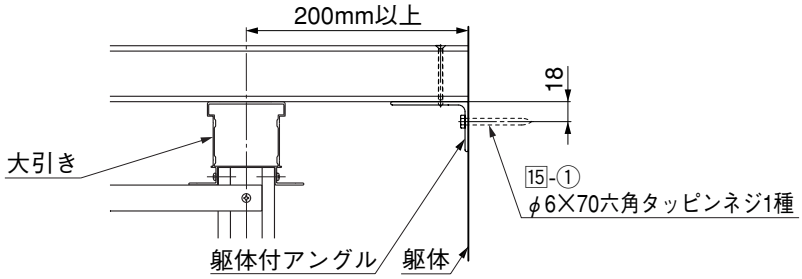


❸補助根太を大引きに12-①で取付けてください。

7. 躯体付アングルの取付け オプション

7-1 躯体面と大引きとの距離が200mmを超える場合





ポイント

- 躯体付アングル上面と大引き上面の高さは同じにしてください。

❶躯体付アングルにφ7の孔を、455mmピッチ以内であけてください。
❷躯体付アングルを躯体に15-①で固定してください。

ポイント

- 15-①は、躯体の構造部材に取付けてください。

8. 床板の取付け

8-1 Rコーナーでの床板取付上の注意

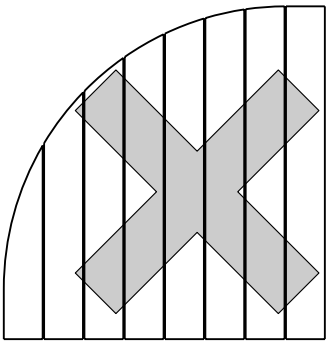


図8-1

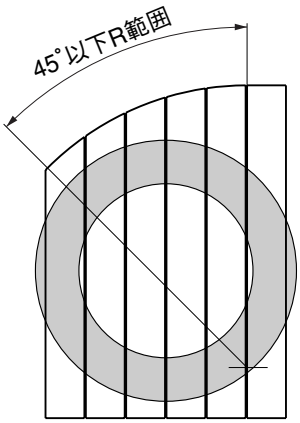


図8-2

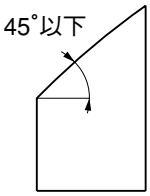


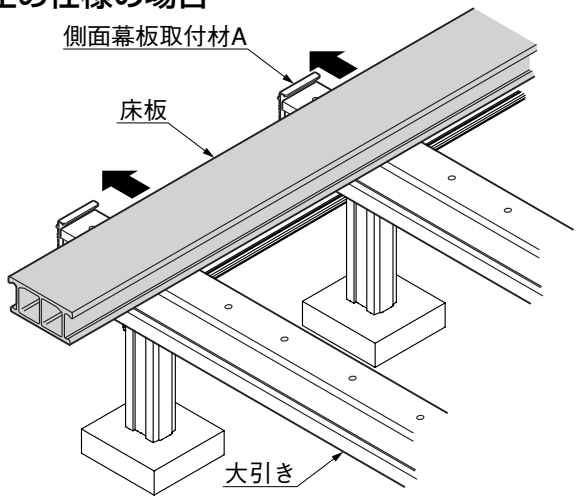
図8-3

ポイント

- 床板のRコーナー納りは正面側から45°の範囲までです。
- 床板の切断は図8-3のように45°以下としてください。

8. つづき

8-2 上止め仕様の場合



❶床板を大引きの側面幕板取付材Aに差し込んでください。

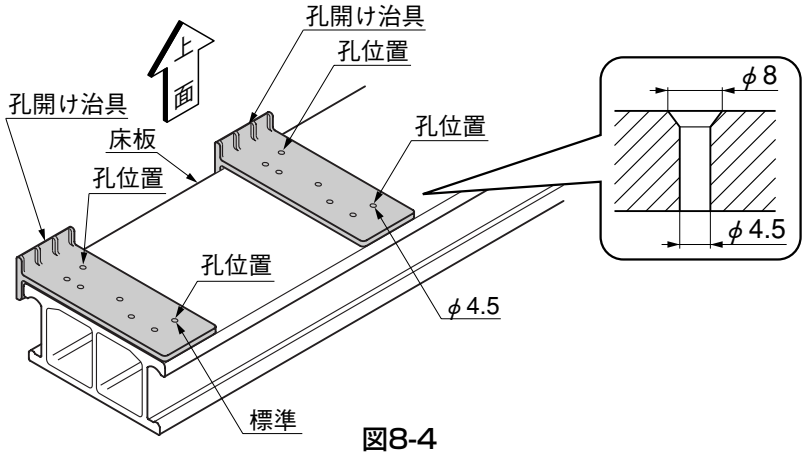


図8-4

❷床板を「3.基本寸法」を参照して、大引きのピッチで孔開け治具を使って、φ4.5の貫通孔をあけてください。
（図8-4図8-5参照）

ポイント

- 下孔の位置は、孔開け治具の「標準」と刻印した孔位置です。（図8-6参照）
- 床板先端と孔開け治具の向きを逆にしない様注意してください。

❸床板上面のφ4.5の孔にφ8サラ取り加工をしてください。

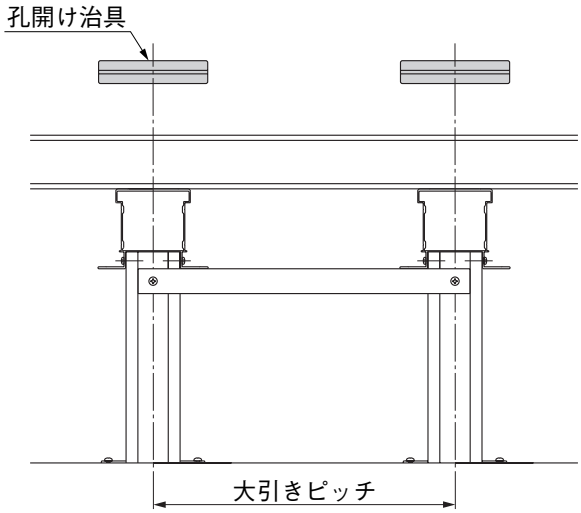


図8-5

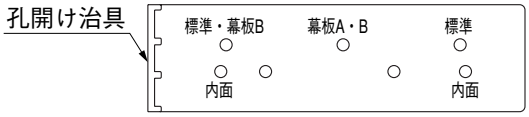
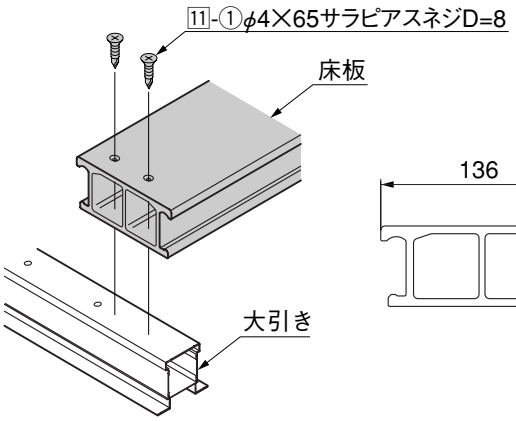


図8-6　孔開け治具



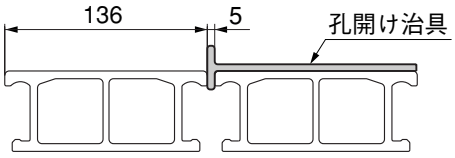


図8-7

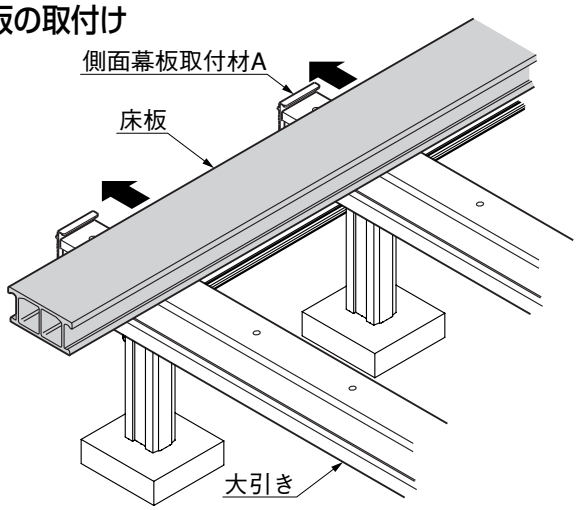
❹床板を大引きに11-①で固定してください。

ポイント

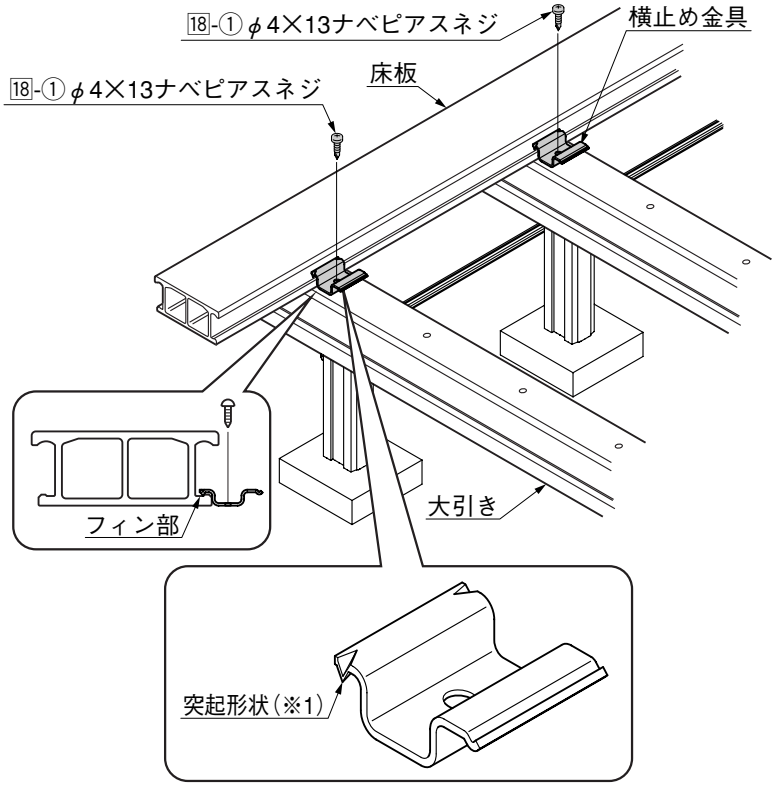
- 電動ドライバー等での締付け過ぎに注意してください。締込み過ぎると床板が割れるおそれがあります。
- 孔開け治具を使って、床板と床板のすき間を5mmにしてください。（図8-7参照）

8-3 横止め仕様の場合

（1）床板の取付け



❶床板を大引きの側面幕板取付材Aに差し込んでください。

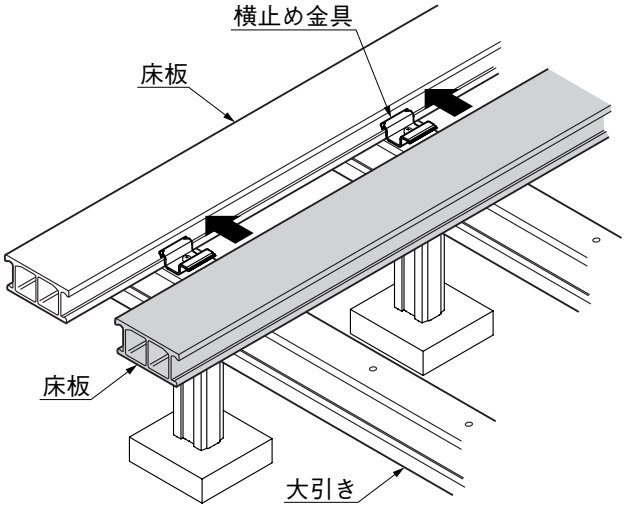


❷横止め金具を床板のフィン部に乗せて、18-①で下孔の位置に取付けてください。

ポイント

- 突起形状（※1）のある側を床板のフィン部に取付けてください。

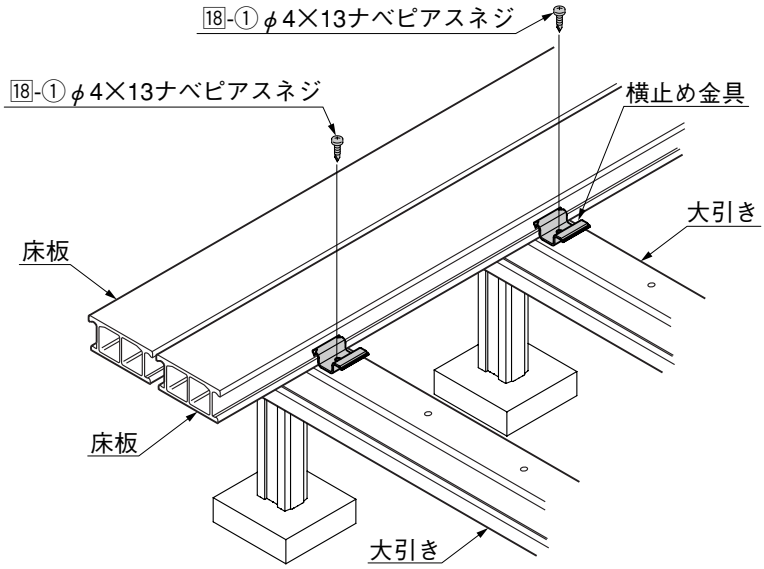
8. つづき



❸床板を横止め金具に差込んでください。

ポイント

- 入りにくい時はプラスチックハンマーで軽くたたいて入れてください。



❹2枚目以降も横止め金具を、18-①で下孔の位置に取付けてください。

9. 正面・コーナー幕板取付材の取付け

9-1 幕板取付材の取付位置の確認

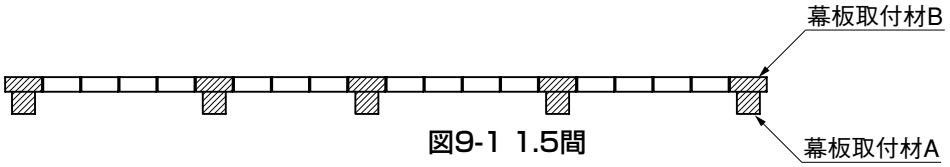


図9-1 1.5間

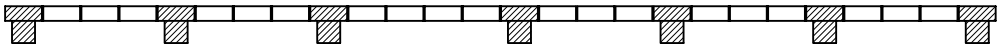


図9-2 2.0間

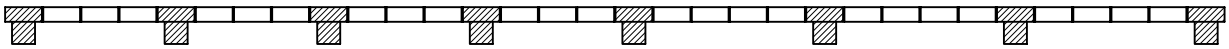


図9-3 2.5間

❶図を参照して、幕板取付材を取付ける位置を確認してください。

補 足

- 取付位置は3つおきの箇所と4つおきの箇所がありますので、注意してください。
- コーナー（角度切り直線）部も正面側と同様に3〜4つおきに取付けてください。
- 幕板取付材は、直線部・コーナー部の始まりと終り、および幕板接続部には必ず取付けてください。

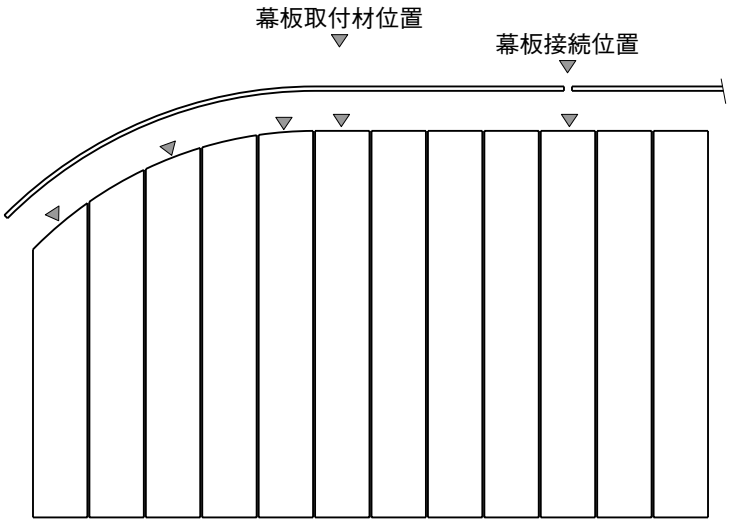


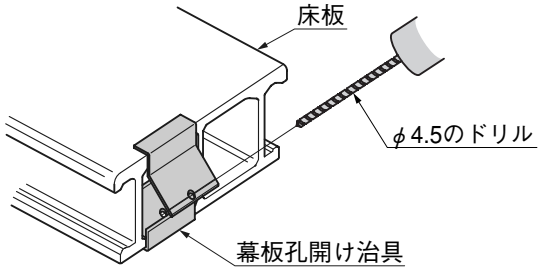
図9-4

補 足

- Rコーナー部は幕板取付材を1つおきに取付けてください。
- Rの大きさが途中で変わる場合はそれぞれのRの始まりと終りに幕板取付材を取付けてください。

9. つづき

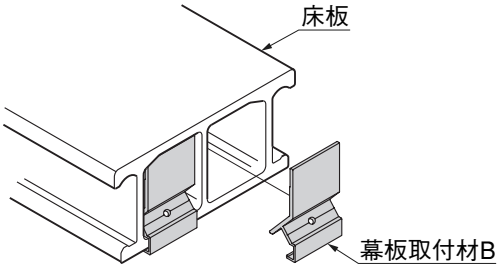
9-2 正面幕板・コーナーの幕板取付材の取付け



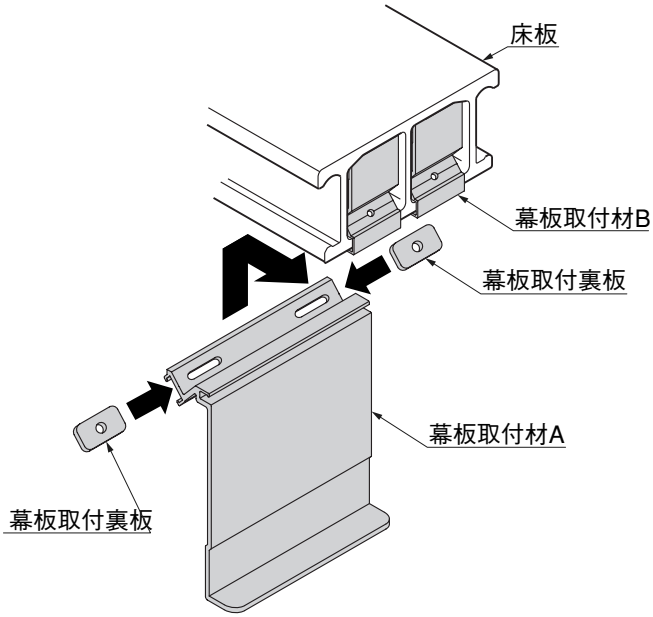
❶幕板孔開け治具を床板の中空部分にはめ込み、治具の孔に従って床面に斜め上方向から床板下面に向かってφ4.5を開けてください。

ポイント

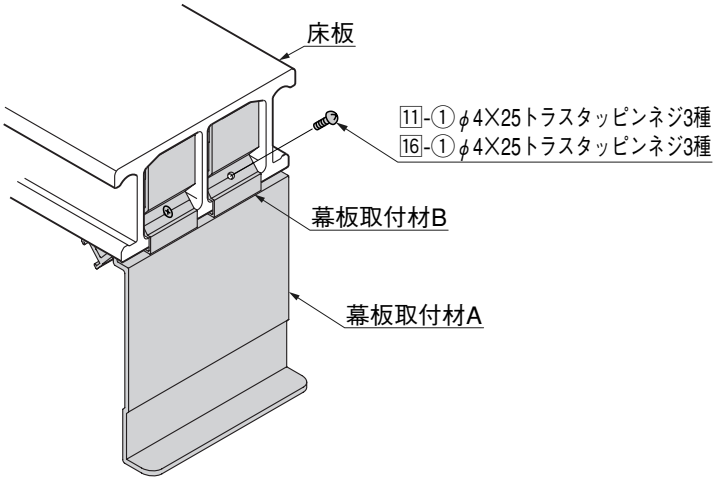
- 治具がずれないように押さえながら孔を開けてください。



❷幕板取付材Bを床板中空部に仮置きしてください。



❸幕板取付材Aに幕板取付裏板を2コ入れて、床板下面に沿わせてください。

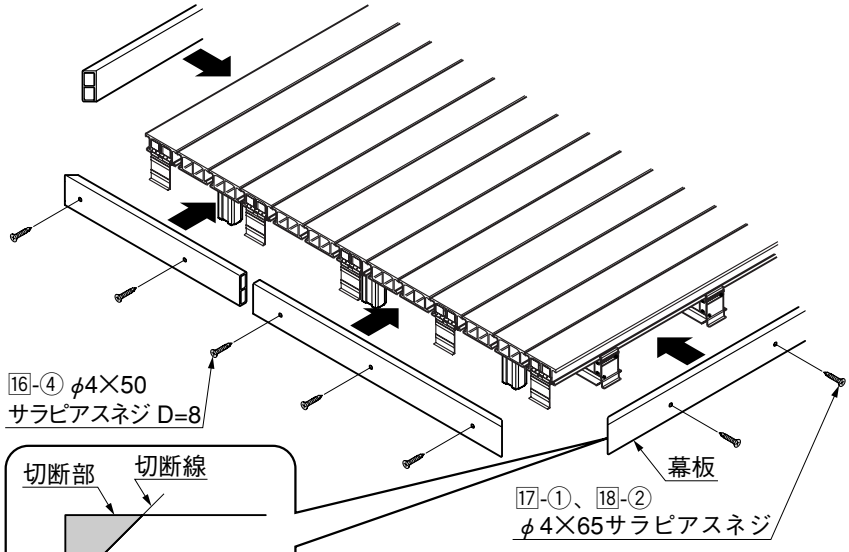


❹幕板取付材Bの孔に11-①、16-①を通して、ネジ2本と裏板を仮止めし、幕板取付材Aの位置を床板に対して左右均等にしてから増締めしてください。

10. 幕板の取付け

10-1 幕板Aの場合

（1）直角・90°コーナー部の場合



ポイント

- デッキ上にフェンスを取付ける場合は、フェンス取付け後に幕板を固定してください。

❶ 90°コーナー部の端部は、45°に切断加工してください。

❷ 孔開け治具を使って、幕板取付材Aと側面幕板取付材Aが付いている部分にφ4.5下孔とφ8サラ取りをしてください。（図10-2参照）

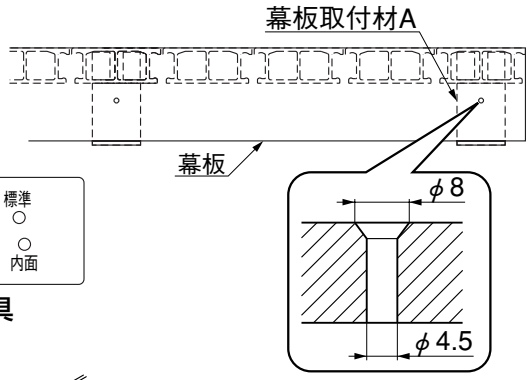


図10-2　幕板の孔あけ

ポイント

- 孔開け治具の「幕板」と刻印した孔を使ってください。（図10-1参照）

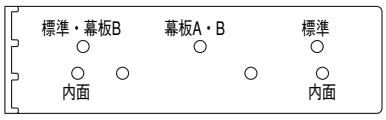


図10-1　孔開け治具

❸ 正面の幕板を幕板取付材Aに16-④で固定してください。

ポイント

- 幕板の連結は正面幕板取付材Aのある箇所で行ってください。（図10-3参照）

❹ 側面の幕板を側面幕板取付材Aに17-①、18-②で固定してください。

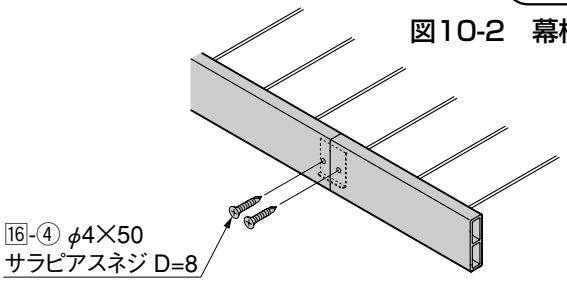
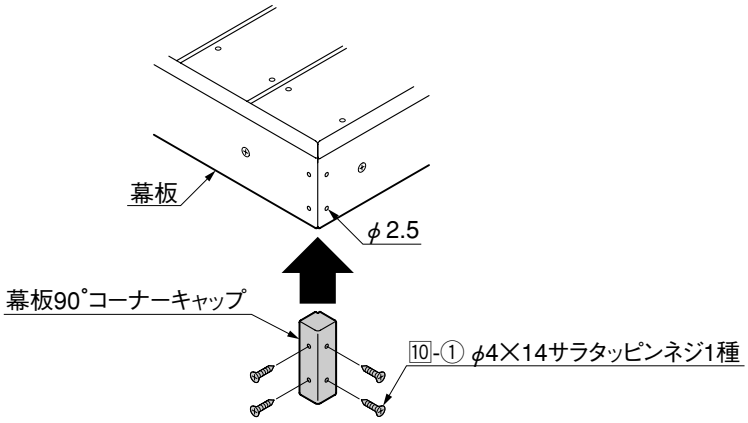


図10-3　幕板の連結

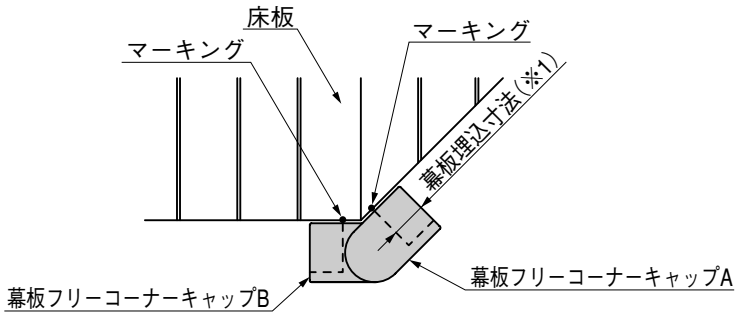
❺ 幕板90°コーナーキャップを幕板コーナー部に合わせて、φ2.5下孔をあけてください。

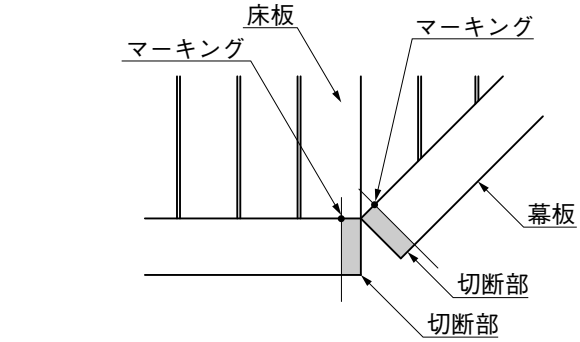
❻ 幕板90°コーナーキャップを10-①で固定してください。



10. つづき

(2) フリーコーナー部の場合





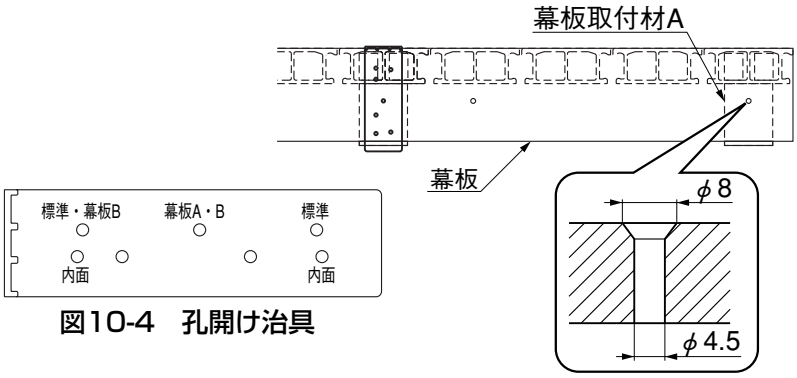
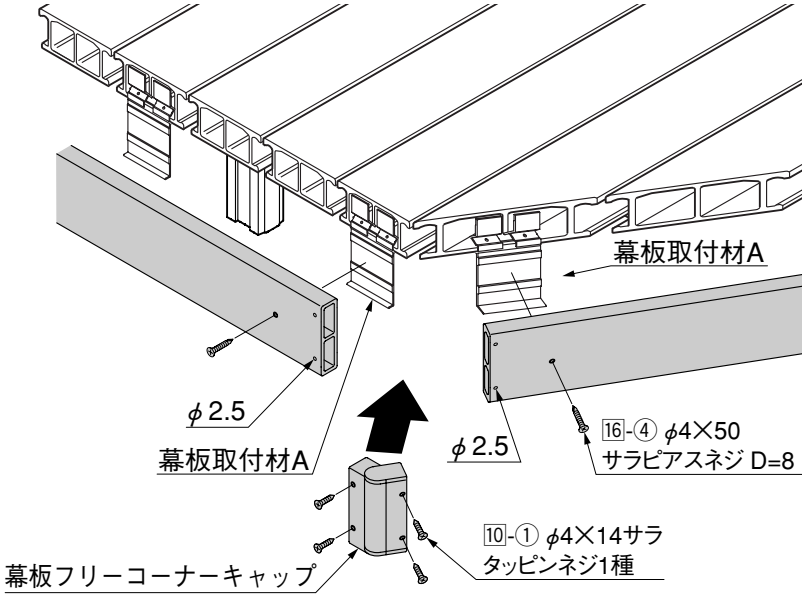


図10-4　孔開け治具

図10-5　幕板の孔あけ



ポイント

- 幕板フリーコーナーキャップの取付け可能角度範囲は、135°～225°です。

補 足

- 幕板フリーコーナーキャップは分離していますが、幕板に固定した段階で一体になります。

❶幕板フリーコーナーキャップAと幕板フリーコーナーキャップBを組んで、床板のコーナー部に当ててください。
❷幕板埋込寸法(※1)を測って、床板にマーキングしてください。
❸幕板をマーキングした部分で切断してください。

❹孔開け治具を使って、幕板取付材Aが付いている部分にφ4.5の下孔とφ8のサラ取りをしてください。

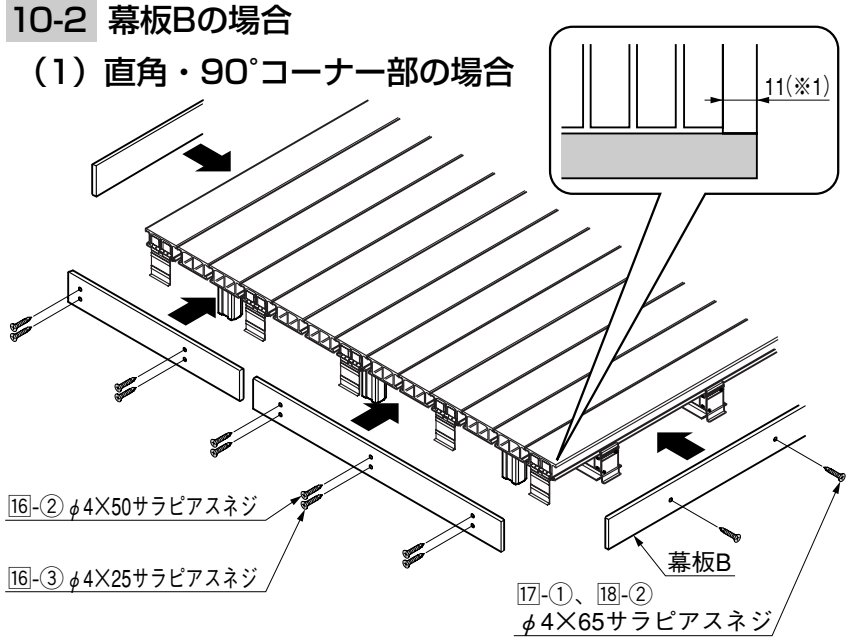
ポイント

- 孔開け治具の「幕板」と刻印した孔を使ってください。(図10-4参照)

❺幕板を幕板取付材Aに16-④で固定してください。
❻幕板フリーコーナーキャップを幕板に当てて、幕板にφ2.5の孔をあけてください。
❼幕板フリーコーナーキャップを幕板に10-①で取付けてください。

10-2 幕板Bの場合

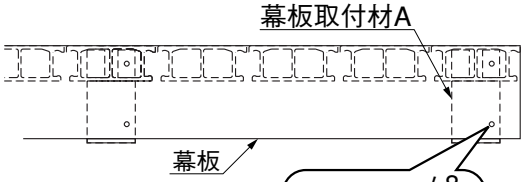
（1）直角・90°コーナー部の場合



ポイント

- デッキ上にフェンスを取付ける場合は、フェンス取付け後に幕板を固定してください。

❶ 孔開け治具を使って、幕板取付材Aが付いている部分にφ4.5下孔とφ8サラ取りをしてください。（図10-7参照）



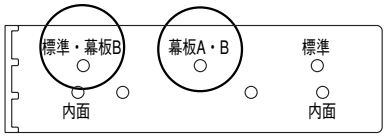


図10-6　孔開け治具

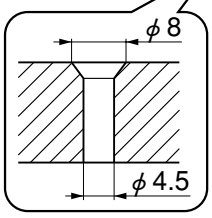


図10-7　幕板の孔あけ

ポイント

- 正面側端部の幕板は床板から11mm（※1）とび出した納りになります。
- 孔開け治具の○印の孔を使ってください。（図10-6参照）

❷ 正面の幕板Bを正面幕板取付材Aに16-②、16-③で固定してください。

ポイント

- 幕板Bの連結は幕板取付材Aのある箇所で行ってください。（図10-8参照）
- 幕板Bの切断寸法は、間口方向優先で指示しています。
- 正面の幕板Bは上下2ケ所の取付けになります。

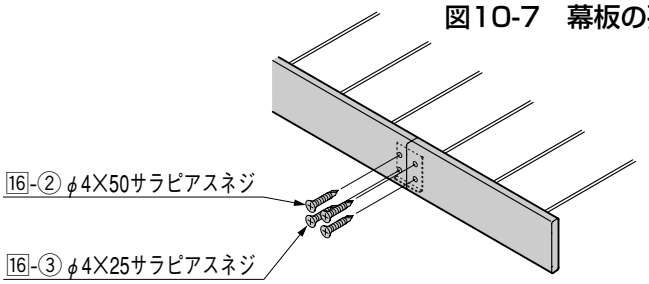
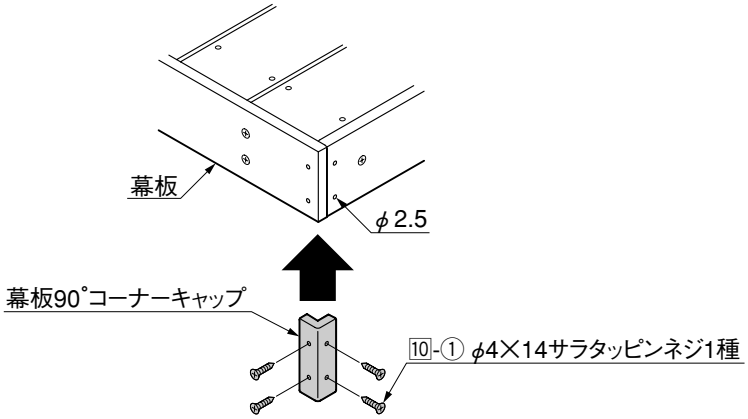


図10-8　幕板の連結

❸ 側面の幕板を側面幕板取付材Aに17-①、18-②で固定してください。

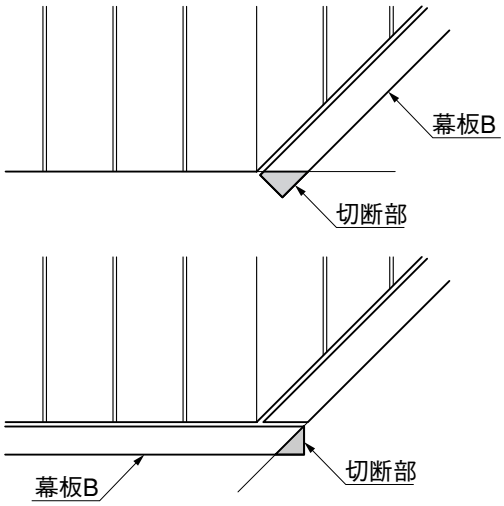


❹ 幕板90°コーナーキャップを幕板コーナー部に合わせて、φ2.5下孔をあけてください。

❺ 幕板90°コーナーキャップを10-①で固定してください。

10. つづき

（2）フリーコーナー部の場合



❶図のように幕板Bを切断加工してください。

ポイント

- 切断面は、やすり等で整えてください。

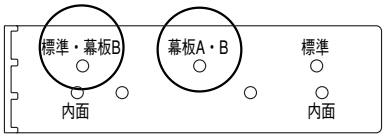


図10-9　孔開け治具

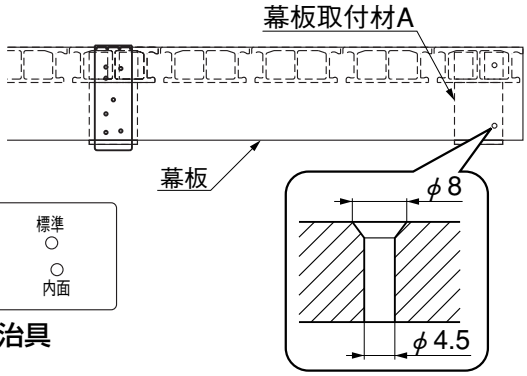
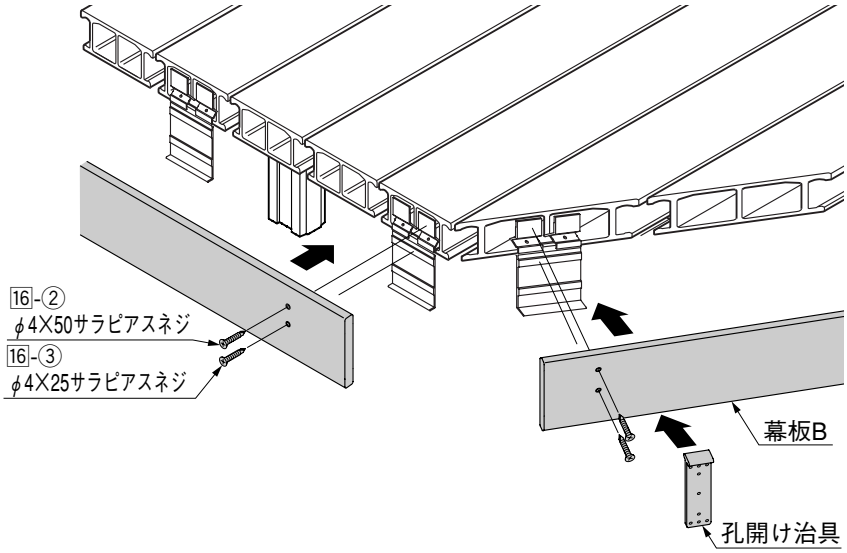


図10-10　幕板の孔あけ

❷孔開け治具を使って、幕板取付材Aが付いている部分にφ4.5の下孔とφ8のサラ取りをしてください。

ポイント

- 孔開け治具の○印の孔を使ってください。（図10-9参照）



❸幕板Bを幕板取付材Aに16-②、16-③で固定してください。

（3）R納まりの場合

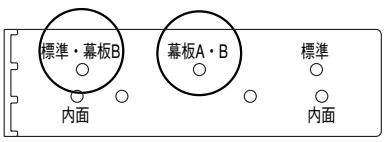


図10-11　孔開け治具

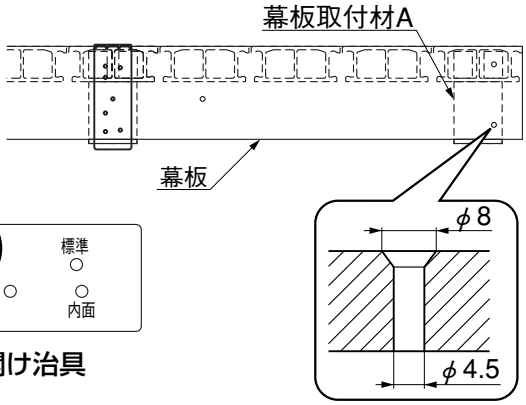
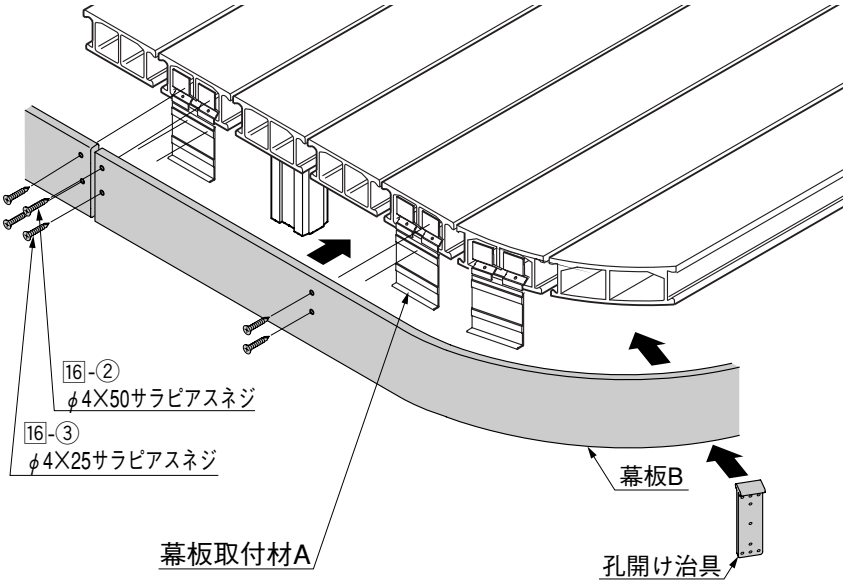


図10-12　幕板の孔あけ

❶孔開け治具を使って、幕板取付材Aが付いている部分にφ4.5の下孔とφ8のサラ取りをしてください。

ポイント

- 孔開け治具の○印の孔を使ってください。（図10-11参照）



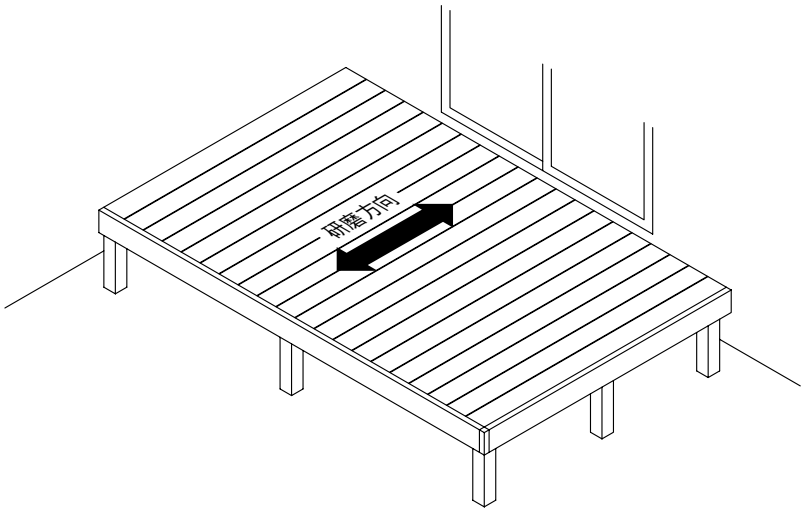
❷コーナー幕板取付材Aを、コーナー部の始まりと終わり、その間は1枚おきを目安に取付けてください。

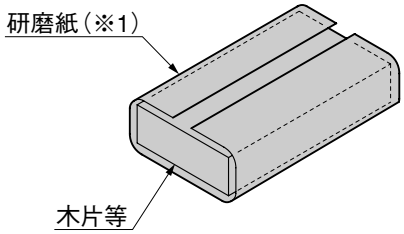
❸幕板Bを幕板取付材Aに16-②、16-③で固定してください。

ポイント

- R納まりの場合は、幕板Bは必ず直線部で連結してください。
- R部分の半径は、800mm以上にしてください。

11. 施工後の仕上げ





❶施工後、表面に付いたすりキズは図の研磨方向に補修用研磨紙で仕上げてください。

ポイント

- 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。（※1）